

議長 副議長 局長 次長 主幹 総務調査係長 議事係長 主任 係



別記様式(第7条関係)



令和6年4月30日

桑名市議会議長
富田 薫 様

会派名 無会派
代表者氏名又は議員氏名

伊藤 研司



政務活動費収支報告書

桑名市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、令和5年度
政務活動費収支報告書を提出します。

1. 収入

政務活動費 600,000 円

2. 支出

科目	金額	備考
調査研究費	40,920	
研修費		
会議費		
広報・広聴費	543,648	
資料作成費		
資料購入費		
要請・陳情活動費		
人権費		
事務費		
合計	584,568	

3. 残額 15,432 円

(注)備考欄には、支出の内訳を記載する。

会 計 帳 簿

支払 番号	年 月 日	支払項目	内 容	収 入	支 出	残 額
	2023/4/15		政務活動費 前期分	450,000		450,000
1	2023/4/28	調査研究費	タブレット端末通信料(前期分)		30,690	419,310
2	2023/5/23	広報・広聴費	広報紙郵送代		136,920	282,390
3	2023/8/16	広報・広聴費	広報紙郵送代		136,416	145,974
4	2023/12/8	広報・広聴費	広報紙郵送代		135,408	10,566
	2024/1/15		政務活動費 後期分	150,000		160,566
5	2024/2/6	広報・広聴費	広報紙郵送代		134,904	25,662
6	2024/3/5	調査研究費	タブレット端末通信料(後期分)		10,230	15,432
合計				600,000	584,568	15,432

支 払 伝 票

令和 5 年 4 月 28 日

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	1
支 払 項 目	調査研究費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 4 月 28 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 4 月 28 日		
支 払 金 額	30,690 円		
支 払 先	桑名市長		
使 途 内 容	タブレット端末通信料(前期分) 30,690 円		
備 考	1か月あたりの通信料3,410円(税込) 3,410円×9か月=30,690円		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号																																																									
支出科目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 要請・陳情費																																																								
桑名市 24-205 納入通知書兼領収書 〒 511-8601 住 所 三重県桑名市中央町2丁目37番地 無会派 伊藤 研司 様 <table><tr><td>年 度</td><td>伝票番号</td><td>予算</td><td>会計</td><td>所属</td></tr><tr><td>5</td><td>0003702 - 001</td><td>0</td><td>1</td><td>30010</td></tr><tr><td>款 項 目 節 1</td><td colspan="5">議会費収入</td></tr><tr><td>21 4 3 細節 10</td><td colspan="5">タブレット端末使用料</td></tr><tr><td>金 額</td><td colspan="5">30,690 円</td></tr><tr><td>納 期 限</td><td colspan="5">令 和 5 年 4 月 28 日</td></tr><tr><td>所 管 課</td><td colspan="5">議会事務局</td></tr><tr><td>摘 要</td><td colspan="5">令和5年度タブレット端末通信料(前期分)</td></tr><tr><td>発 行 日</td><td colspan="5">令 和 5 年 4 月 18 日</td></tr></table> 上記金額を納入してください。 桑 名 市 長 上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関 領 収 日 付 印 桑名市 指定金融機関 5.4.25 桑名三重信用金庫 馬道支店 (2) ※領収日付印のないものは無効です。 (納入者保管) 桑名市 24-205						年 度	伝票番号	予算	会計	所属	5	0003702 - 001	0	1	30010	款 項 目 節 1	議会費収入					21 4 3 細節 10	タブレット端末使用料					金 額	30,690 円					納 期 限	令 和 5 年 4 月 28 日					所 管 課	議会事務局					摘 要	令和5年度タブレット端末通信料(前期分)					発 行 日	令 和 5 年 4 月 18 日				
年 度	伝票番号	予算	会計	所属																																																					
5	0003702 - 001	0	1	30010																																																					
款 項 目 節 1	議会費収入																																																								
21 4 3 細節 10	タブレット端末使用料																																																								
金 額	30,690 円																																																								
納 期 限	令 和 5 年 4 月 28 日																																																								
所 管 課	議会事務局																																																								
摘 要	令和5年度タブレット端末通信料(前期分)																																																								
発 行 日	令 和 5 年 4 月 18 日																																																								
領 収 書 等 添付合計金額	30,690 円 (内、政務活動費充当額 30,690 円)																																																								

支 払 伝 票

令和 5 年 5 月 23 日

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	2
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 5 月 23 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 5 月 23 日		
支 払 金 額	136,920 円		
支 払 先	日本郵便株式会社		
使 途 内 容	広報紙郵送代 136,920 円		
備 考	0		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☒ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 書

第 189527-22 号

おなまえ	桑名市議会 無会派 議員 伊藤 研司 様		<領収内訳>	<備考>
受領金額	円	136,920	現金 136,920 円	
	円		小切手 円	
	円		切手 円	
	円		証紙 円	
	円		キャッシュレス決済 円	
	円		(決済ブランド名:)	

※ 金額欄を訂正しているものは無効です

お取引の内容

郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 別納 計器予納金 受取人払 着払 その他()	区内特別基(税) (@ 84 円) × 1630 (枚・個・通・件)																		
		(@ 円) × (枚・個・通・件)																		
		(@ 円) × (枚・個・通・件)																		
		(@ 円) × (枚・個・通・件)																		
		(@ 円) × (枚・個・通・件)																		
貯金																				
保険	保険料の払込み	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">保険証券(書)の記号番号</th> <th colspan="4">払込期間及び払込月数</th> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>期から</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>期まで</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>期から</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>期まで</td> </tr> </table>	保険証券(書)の記号番号		払込期間及び払込月数				年	月	期から	年	月	期まで	年	月	期から	年	月	期まで
保険証券(書)の記号番号		払込期間及び払込月数																		
年	月	期から	年	月	期まで															
年	月	期から	年	月	期まで															
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他()	(申込書番号)																		

上記の金額を、確かに領収いたしました。

取扱郵便局

桑名播磨 郵便局

2023 年 5 月 23 日

電話番号

0594-22-4237

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱者氏名



※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 189527-22 号

領 収 書 等 添付合計金額	136,920 円 (内、政務活動費充当額 136,920 円)
-------------------	----------------------------------

常に現場主義！ 桑名市議会議員 伊藤研司の発言・活動報告

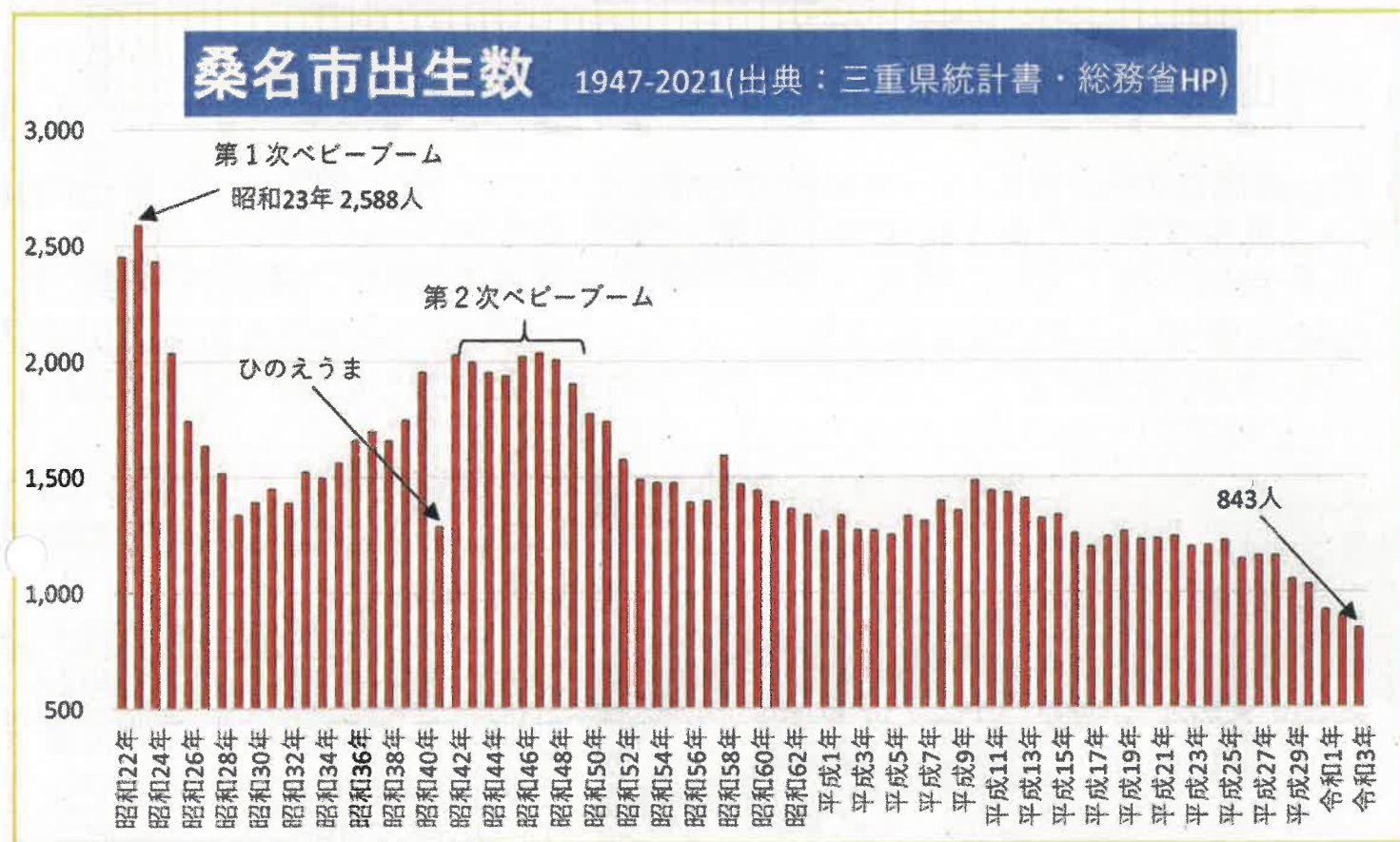


本議会:パネルで出生数を説明

子・孫の世代に借金を残さない政策を！

財政の裏付けのない教育・福祉政策では、市民のための政策と訴えても、子・孫の世代に借金だけ残す事になってしまうのです。

施設一体型小中一貫教育を進める為に



出典：三重県統計書＜昭和22年～昭和54年＞

※ただし、昭和22年は、木曽岬村含む、久米村・七和村除く

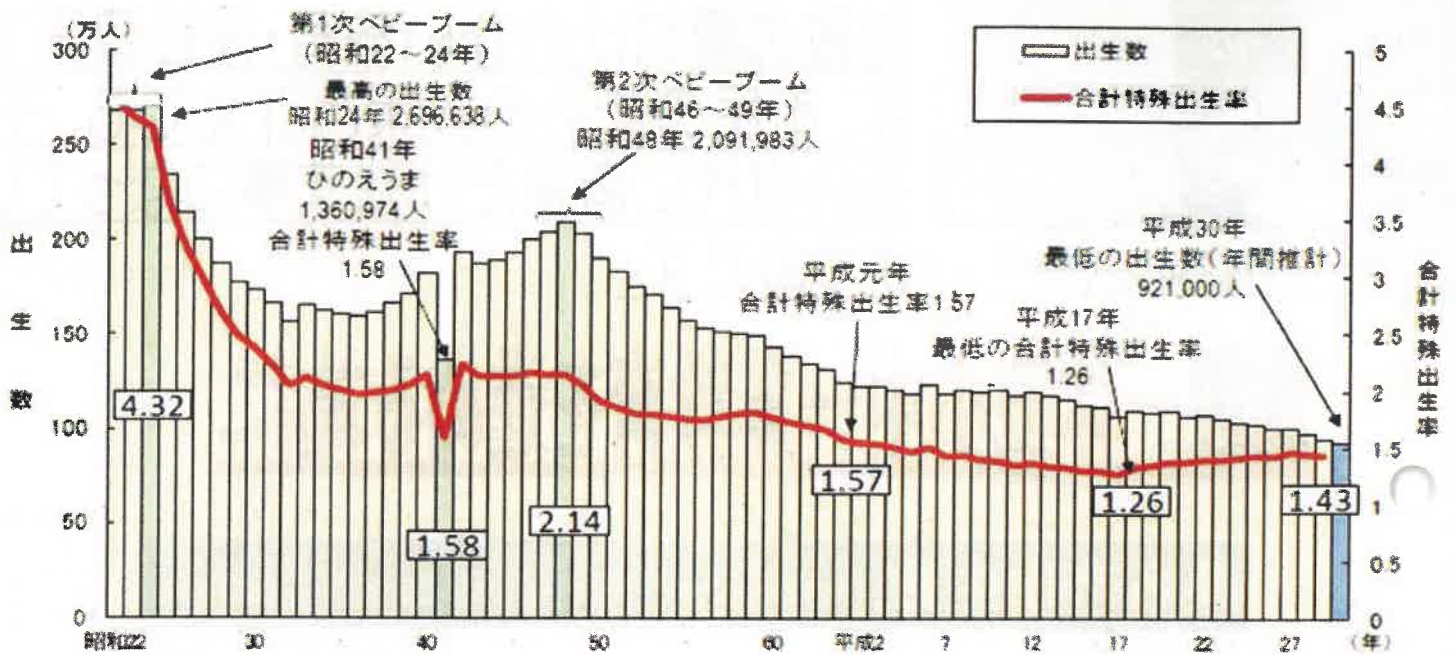
《伊藤研司議員・発言の主旨》

小中一貫校の枠組みについて…？！↓

桑名市役所⇒①1973年(昭和48)に運用開始。今年で50年経過。 ②1979年に美しいデザインとしての中部建築賞を受賞。 ③2012年(H24)～2026年に約14億4383万円で免振工事。後、不具合が発覚。 ④市役所は災害時、防災拠点となるので、市民の方々が安心して避難生活できる建物としての必要性。

出生数、合計特殊出生率の推移

平成30年の出生数(年間推計)は92万1,000人で、前年比25,065人減少。
合計特殊出生率(平成29年確定数)は1.43で前年比0.01ポイント下降。



しかし残念ながら、普段の日常業務でも使いかたが悪い建物。⑤『桑名市役所+光風中学校+市道+駐車場+公園』で約3.5ヘクタール。…

私自身は写真で示した様に、『桑名市役所+光風中学校』の建物を解体して、『光風・成徳・明正』中学校学区の施設一体型小中一貫校の必要性を訴えています。

しかし、私自身がポスティングをした時にも市民の方々からお聞きした例には、

① 七和地区の一部は大山田の方が近いのではないかな？



市役所・光風中学校をドローンで撮影。
赤枠の左→市役所の建物。右→光風中学校の校舎・運動場。 向うの小さな赤枠→三重県の桑名庁舎。

② 深谷地区は多度学区に編入したい…等々のご意見もお聞きました。

③ さらに、伊勢湾台風で甚大な被害に遭った陽和学区の問題…二級水系の町屋川の南に位置する明正中学校から独立した正和中学校学区の問題…災害時の事を考えると多くの課題・問題が出てきます。

小中一貫校の必要性について…?! ↓

① これからの多文化共生の日本を背負っていく人材育成には、小中一貫校からできる生活・教育⇒日常性の中で外国籍の児童・生徒・教師…様々な事情がある児童・生徒との触れ合い・授業の必要性。

② 教師が授業実践に専念できる体制の必要性。

- ③ 日常的に小学生と中学生が触れ合うことで、将来の姿＋社会性が身につく。
- ④ 専門性が必要とされる授業実践が可能となる。



左→桑名市役所。 右手前→立体駐車場。 右向う→光風中学校校舎そして運動場。
ドローンで撮影

小中一貫校が地域で認められ、成功させるための条件とは…?! ↓

小中一貫校での授業を含む活動実践の内容は勿論のことですが、校舎の跡地活用の課題も重要です。

私自身、小中一貫校での跡地問題を視察に行きました。やはり、地域の方々が必要のある活用方法を地域の方々同士が話し合い、そし

て…行政と話し合っていく必要性を思っています。

跡地活用の全国の実践例は、行政も資料を持っているハズです。

現実的課題として、施設一体型小中一貫校が完成して、動き出すのは早くても8～10数年先と思われます。

「排除の理論ではなく、市民と市民が対等な立場」での話し合い⇒「跡地活用」の問題で話し合いをする場の一つには地域の「まちづくり協議会」もありです。

跡地活用の課題が解決・運用されて、施設一体型の小中一貫校の良さも発揮できる…！と思っていると同時に、施設一体型小中一貫校問題を含む将来的な桑名市のあるべき姿について、「まちづくり協議会」で市民同士が対等な立場で議論する事の必要性に対する市の考えは…??

《教育長・答弁の主旨》



今定例会には、桑名市の児童生徒数の減少による学校規模の小規模化や学校施設の老朽化が進行する中、子ども達により良い教育環境を提供するため、多度地区以降の小中学校の再編計画をするための議案を提出しています。

本計画には、「新しい学校の適正規模・適正配置」「分散進学解消に向けた通学区域の見直し」「再編順序」などを盛り込むことを想定していますが、学校は学校教育活動を行う場としての役割だけでなく、地域コミュニティの場所として様々な活動に利用され、地域住民に親しまれている施設でもあることから、今まで歴史を重ねて来た小中学校を再編し、新たな学校を設置するにあたっては、地域の合意と協力が必要不可欠であると考えています。

また、小中学校再編により生じる貴重な地域資源である学校跡地を活用し、より

魅力的で活気のある地域を創造するためにも地域で学校再編や跡地活用の課題を議論して頂くことは非常に有効であると考えています。

研司議員からは、まちづくり協議会を中心とした話し合いの場について有効なご提案を頂きました。

地域住民の方が、自分たちの「まち」について話し合い、課題解決に向けて取り組む組織である「まちづくり協議会」が、将来的に行政とまちづくりの『パートナー』として、対等な関係のもと、連携・協働していくことは、学校再編や学校跡地の利活用に限らず、それぞれの地域に住む市民の皆様の声を市政に反映する上でも、一つの重要な手法であると考えています。

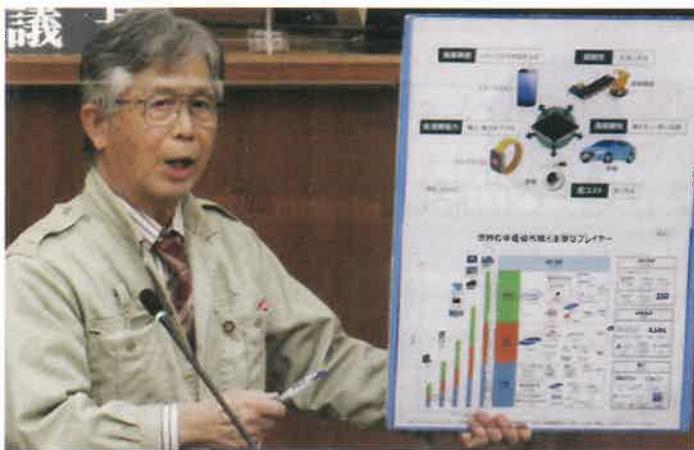
また冒頭、研司議員から旧桑名市街地域における施設一体型小中一貫校に向けて、諸データをもとに斬新なアイデアを頂きました。

また、議員が市民からお聞きした貴重なご意見という事も参考にさせて頂くとともに、今後、住民と行政…また、行政と住民の代表である議会とが共に再編に向けた協議を進めてまいりたいと考えています。

半導体企業誘致への対応は…！

多度山・鈴鹿山系を含んだ自治体での半導体企業の誘致を！

《伊藤研司議員・発言の主旨》



何故…私・伊藤研司は、半導体企業の誘致に向けた発言を続けているのか…?!

一口で言えば、「経済・産業安保」+「若者世代の就業⇒結婚・少子化」対策からです。

2023年1月23日 中日新聞「特報」に、以下の内容が記載されています。↓

内閣府が、2020年にまとめた資料に

よると、日本人女性の平均初婚年齢は29,4歳。

しかし、日本より出生率が高い英国→31,5歳。フランス→32,8歳。スウェーデン→34,0歳などは、軒並み日本より晩婚だった。

人口問題に詳しい日本総研の藤波匠氏は「2005年ごろまでは、婚姻率の低下が出生数を押し下げる原因だった。

しかし、結婚しても子どもを持たない人が増え、2016年以降はむしろ出生数の低下を加速させている。晩婚化・非婚化が少子化に与える影響は少なくなっている」と指摘する。

理由は、若い世代が出産をためらうのは、経済的理由からだ。

内閣府の2022年版「少子化社会対策白書」では、夫婦が理想の子ども数を持ってない理由として、「子育てや教育にお金がかかり過ぎるから」が56・3%と最多だった。

藤波氏は「現金給付だけでなく、若い世代の賃金引上げや雇用の安定化、非正

規雇用の正規化にしっかり取り組み、『日本で子どもを産み・育てたい』と思える社会を目指すことが重要だ」と訴える。……。と記載されています。

以上とあるように、正規労働者の割合を増やし、雇用の安定化を図る施策や妊娠から出産、さらには安心して子育て出来る経済的支援を含めた社会環境整備を行う事が出来る財政基盤整備を構築することが、少子化対策にいきつくのでは…これからの自治体に求められているのでは…！と、思っている発言です。

私は、前回・12月の本議会でも半導体企業は、経済・産業安保、正規雇用の確保、さらには地方交付税交付金からの脱却にもつながるので、半導体企業の誘致の必要性に言及して来ました。

前回…多度地区で操業しているUSJCの更なる多度地区への進出について発言して来ました。

そのUSJCの親会社のUMCの更なる進出についての記事が掲載されていたのです。

UMC三重に5千億円規模 半導体新製造工場(棟)を検討 との見出しで、『半導体受託製造の世界大手の台湾のUMCが、三重県桑名市の既存工場内に新しい製造のための工場を建設する方向で検討している事が分かった。…』と報道されているのです。

この報道内容について、当局はどの様に捉えているのか?! 答弁願います。

台湾でPRや交流へ 知事が就任後初の海外出張

一見勝之知事は七十一日、台湾を訪問する。一昨

年九月に就任後、海外出張は初めて。新光三越(台北)市の県観光物産展で県産品のトップセールスをするほか、台湾三重県人会との意見交換会にも参加。観光当局と交流も深める。

産業面では、関連会社が桑名市に工場を設けている半導体大手UMCを訪れて新たな投資を要請する。海運会社には四日市港への安定的な寄港を求む。

県内の外国人(入客は台

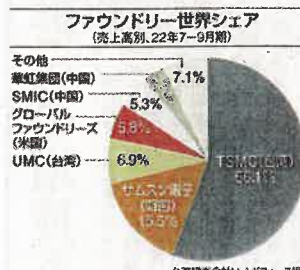
一見勝之知事は昨年十一月の定例記者会見で「台湾は三重と関係が深い。世界的にはコロナが収まりつつあり、観光や経済交流をしようとお願したい」と述べた。出張には野呂幸利県雇

用経済部長が随行する。(竹田佳夢)

中日新聞 2023年1月4日

2023年2月16日 日刊工業

UMC、三重に5000億円



【新刊】台湾・UMCは半導体受託製造(ファウンドリー)の世界最大の台湾・聯華電子(UMC)が三重県桑名市の既存工場内に新しい製造棟を建設する方向で検討していることが分かった。2023年以降に操業を開始し、総投資額は5000億円規模による可能性ある。半導体市場は急激な成長とコロナ特需の反動で低迷するが、品不足の続く車載用などの需要は堅強い。強化する米中対立や台湾海峡を巡るリスクも日本に投資する意向を押す。

車載用など需要底堅く

UMCは三重県内に、3000坪程度の敷いた地に製造棟1棟に、同社が(ナノ)は10個分の工場を建設する方向で検討している。主に自動車や産業機器向けの半導体を製造する見込み。日本政府の補助金を使用する方向。

半導体新製造棟を検討

また、UMCは22年新設し、23年上期に生産を始める計画。

UMCは台湾以外で持つ中国主力工場を、米国の対中規制強化で、台湾の半導体産業の競争力を高める。2021年以降、台湾の半導体産業は、米国の対中規制強化で、台湾の半導体産業の競争力を高める。2021年以降、台湾の半導体産業は、米国の対中規制強化で、台湾の半導体産業の競争力を高める。

《市長・答弁の主旨》



研司議員にご紹介いただきました通り、日刊工業新聞に、『UMC 三重に5000億円』との見出しで掲載されていました。

実現すれば非常に嬉しい話ではありますが、現在のところ、当事者である台湾のUMCや、多度町で操業するUMCの子会社のUSJCからも、公式な発表は出ていないようです。

記事を確認した後、本市からもUSJCに対して情報提供を依頼しましたが、USJCからは「公式発表ではなく、現時点ではそのような具体的計画はない。UMC側から情報があれば、連絡する。」との回答を受けています。

私としても、今後の動向を注意深く見守りたいと思っています。

《伊藤研司議員・発言の主旨》 伊勢新聞↓

令和5年(2023年)1月11日 水曜日 第5013

知事台湾訪問 中部空港への増便も 半導体、追加投資を要望

台湾を訪れている「現知事」空谷氏は、観光需要の拡大を促すため、中部空港(愛知県常陸町)への増便を求めています。航路の追加投資を要望した。航路の追加投資を要望した。航路の追加投資を要望した。

伊藤研司議員は、台湾を訪れている「現知事」空谷氏に、中部空港への増便を求め、半導体産業への追加投資を要望した。伊藤氏は、台湾を訪れている「現知事」空谷氏に、中部空港への増便を求め、半導体産業への追加投資を要望した。

伊藤氏は、台湾を訪れている「現知事」空谷氏に、中部空港への増便を求め、半導体産業への追加投資を要望した。伊藤氏は、台湾を訪れている「現知事」空谷氏に、中部空港への増便を求め、半導体産業への追加投資を要望した。

桑名市においては、企業からの税収アップ⇒『法人市民税+固定資産税』→正規労働者人口の増加→少子化問題の解決にもつながる…と思っているが、当局としての想いは…？！

《市長・答弁の主旨》

半導体工場の製造棟の設置には、多額の投資が見込まれることは、先ほどの記事の通りです。

仮に、USJCでの新棟建設が実現すれば、研司議員が注目されている雇用の面はもとより、建設や製造装置等の固定資産税の増収も見込まれます。

言うまでもなく、市税収入は歳入のうち最も大きな比率を占

め、かつ最も安定的に活用可能な財源であります。

新年度予算は、過去最大の市税収入を背景に、「桑名の将来へ種をまく挑戦予算」と銘打ち、人口減少対策に正面から取り組む覚悟をお示しました。

具体策を取りまとめた人口減少対策パッケージでは、中部・東海地方でもトップクラスの子育て支援事業をご提案することができました。

社会構造が大きく変化する中で、厳しい行財政改革を乗り越え、安定した税収を得ることができたことで、ご提案できた事業です。しかしながら、子育て支援、福祉、教育、



防災などの市民サービス・サービスを維持・向上し続けるためには、今後も安定した財政基盤の確立が必要不可欠となります。

つきましては、半導体関連企業はもとより、市内での操業に興味を示して頂いている事業者の方々に対して、積極的に誘致活動を推進してまいります。私自身もトップセールスをはじめ、出来る事は全て対応したいと考えています。

《伊藤研司議員・発言の主旨》

お隣の自治体…四日市市では、駅前の活性化のために、ある企業によるオフィスビルの建設や、工業系大学の建設の記事が報道されており、半導体企業の誘致に向けた検討がされているようですが、桑名市としての取り組みはどうなっているのか…？



《市長・発言の主旨》

…。昨年の4月にはUSJCの人事担当者から商工課へ、6月には私も社長から直接、人材の確保に苦慮されていることをお聞きしました。

九州では、産学官が協力して、「半導体人材育成コンソーシアム」による人材育成・確保を推進する取り組みがスタートしていたことから、USJCは「少なくとも九州地方と同様の取り組みを進めなければ地域間競争で不利になり、人材確保がさらに困難な状況に陥る」ということを懸念されており、私も危機感を共有しました。

そこで、8月に知事に対して「三重県を中心として中部・東海地方でも『半導体人材育成コンソーシアム』を設立し、専門人材の育成・地域雇用の確保に取り組んでもらいたい。」と要望しました。

その後、三重県が中心となって、関係者調整等を進めて頂き、3月2日、16時から産学官が連携した『みえ半導体ネットワーク』設立を迎えることになったのです。

ネットワークを構成するコンソーシアムには、産業界から桑名市のユナイテッド・ミコンダクター・ジャパン株式会社をはじめ、キオクシア株式会社、ウエスタンデジタル合同会社、ジャパンマテリア株式会社、学術機関として三重大学をはじめ、県内3校の高等学校、官公庁は、経済産業省・三重県・桑名市・四日市市が参加しており、今後も参加企業等は増加する計画です。

このネットワークを活用した半導体企業・人材の確保は当然ですが、様々な事業所で必要とされているデジタル人材についても、この地域内への呼び込み、育成、確保に努めてまいります。

※議会だよりの印刷を発注する直前に「先端半導体の輸出規制強化」「製造装置 中国念頭、米に追随」
2023年4月1日 中日新聞(朝刊)に上記の報道がありました。

垂下アサリ報道と赤須賀漁業

《伊藤研司議員・発言の主旨》

2023年1月7日 中日新聞には以下の事が報道されています。↓

伊勢湾や三河湾で海水に含まれるリンや窒素が減少し、漁業に深刻な影響を与えている。最大の要因に指摘されるのは、生活や産業の排水規制の「効き過ぎ」。

愛知・三重両県は漁業者らの要望を受けて、昨年11月、約40年ぶりに排水規制の緩和にカジを切った。

また、名城大学の鈴木輝明特任教授(水産海洋学)は「排水規制は過度な赤潮を抑制するために始まったが、効き過ぎて海水の生物が減少していることが分かってきた。規制の見直しによって、海苔やアサリの回復が期待でき、海洋環境が悪化する事もないだろう」と話している。

さらに、2023年1月31日 中日新聞(夕刊)には

愛知・田原 湾につるして養殖 砂なく大粒 との見出しで↓

アサリを取り巻く環境は厳しい。農林水産省によると、愛知県内の漁獲高は2011年に1万6千7百トンだったが、2020年には10分の1の千6百トンに激減。栄養となる窒素やリンの不足が要因とあります。

揖斐・長良・木曽川が注ぐ伊勢湾…その汽水域で「ヤマトしじみ・はまぐり」漁を行っている赤須賀漁業組合の漁師…記事の内容と地元漁業者の見解を、桑名市としてどのように認識しているのか…？

↓

《産業振興部長・答弁の主旨》

……(略)……この報道についての地元漁業者の見解であります。こうした吊り下げ式の手法については、令和2年から3年にかけて県の取り組みとして、木曽三川河口部を含む県下4カ所で、“はまぐり”を使用して実験が行われましたが、水温の低下や不純物がかごに付着するなどが原因で思うような成果が得られなかった。」とのことでした。

しかしながら、「近隣の田原市において、このような成功例が見られたこと、大変興味深く、我々としても大きな励みになる。今後も吊り下げ式を含め、様々な手法を研究しながら“はまぐり”・“しじみ”漁を盛り上げていきたい。」といったお声も頂いています。

海苔 色落ち・アサリ激減



愛知・田原湾の海苔漁師が収穫した海苔。昨年11月、排水規制が緩和された影響で、海苔の色落ちやアサリの激減が報告されている。

「排水規制で色落ちした海苔は、漁師が海苔を捨ててしまっている。海苔の色落ちやアサリの激減は、排水規制の緩和による影響が大きい。排水規制の緩和は、海苔やアサリの回復を期待できるが、同時に、海苔やアサリの激減が報告されている。排水規制の緩和は、海苔やアサリの回復を期待できるが、同時に、海苔やアサリの激減が報告されている。」

海 きれいな過ぎて不漁

三重・愛知 排水基準 40年ぶり緩和

年度から八次となる計画を策定し、排水中のリンや窒素の量を削減してきた。だが近年、海水がきれいになりすぎて、海苔やアサリの激減が報告されている。排水規制の緩和は、海苔やアサリの回復を期待できるが、同時に、海苔やアサリの激減が報告されている。



油圧ショベル型対人地雷除去機



日本政府がカンボジア等の国々で実績のある日建の「油圧ショベル型対人地雷除去機」をウクライナへ送る事を要望しました。

写真→インターネットから

様式第10号(第6条関係)

支 払 伝 票

令和 5 年 8 月 16 日

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	3
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 8 月 16 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 8 月 16 日		
支 払 金 額	136,416 円		
支 払 先	日本郵便株式会社		
使 途 内 容	広報紙郵送代 136,416 円		
備 考	0		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号	
支出科目	☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☒ 広報・広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 要請・陳情費

領 収 書

第 189527-29 号

おなまえ	桑名市議会 無会派 議員 伊藤 研司	様	<領収内訳> 現金 136416 円 小切手 円 切手 円 証紙 円 キャッシュレス決済 円 (決済ブランド名:)	<備考>
受領金額	百万 千 円 4 1 3 6 4 1 6 円 内消費税額 円			
※ 金額欄を訂正しているものは無効です				

お取引の内容

郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 (別納 計器予納金 受取人払 着払 その他)	区内特別郵便(84) 円 × 1624 (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件)
貯金		
保険	保険料の払込み	保険証券(書)の記号番号 払込期間及び払込月数 年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他	(申込書番号)

上記の金額を、確かに領収いたしました。

取扱郵便局 桑名播磨 郵便局

2023 年 8 月 16 日

電話番号 0594-22-4237

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱者氏名



※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 189527-29 号

領 収 書 等 添付合計金額	136,416 円 (内、政務活動費充当額 136,416 円)
-------------------	----------------------------------



桑名市議会議員 伊藤研司の発言・活動報告

桑名鋳物と「hinotori」(火の鳥)

《伊藤研司議員・発言の主旨》



最先端国産医療ロボット×桑名いもの(城田鋳工株式会社)

川崎重工業からの信頼と実績によって、日本初の医療用ロボット製造業の一翼を担うことになった城田鋳工様を見学させて頂きました。

これまでも…私は、東京スカイツリーの滑車に東北地方の町工場(山形市:従業員33名の渡辺鋳造所)の技術が使われている事やSDGsの観点からも「鋳物+薪ストーブ」について発言して来ましたが、今回…城田鋳工様を見学して「ビックリ仰天…」でした。

「鋳物の街」桑名で生まれ育った私は、革命的…?!な意識改革をしました。

見学して学んだ事は以下の通りです↓

1. アメリカ発の医療用ロボットのダヴィンチは、桑名の医療センターにも入っていますが、国産初の医療用ロボットの製造が、桑名の鋳物企業でその一翼を担っている現実がある事。

2. 城田鋳工の社長からは、「若者のためにも、次世代にまで続く運営を目指して、ブランディング担当者も置いている」との話を聞いたこと。

3. 3D映像で溶湯(ようとう⇒鋳造に使う溶けた金属)の流れや温度分布を解析してから↑

実際の製造に入る技術があること。この事によって、空気が入り、製品にヒビが入る事がなくなり、複雑な製品が無駄なく、製品化できるようになる。↑

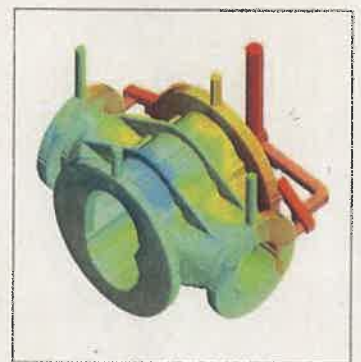
4. 日本国開発(川崎重工+シスメックスの共同出資で開発)手術支援ロボット「hinotori」⇒高性能な3D画像、操作性に優れたコックピット、動作状況をモニタリングするネットワークシステムを有している。…等々。

桑名市として…手術支援ロボットの一部を製造する企業・技術力がある桑名の鋳物、桑名市の鋳物産業を次世代に迄つなげていこうとするには、再び、東の川口・西の桑名と言われる迄…どの様な考え・取り組みを考えているのか…?

鋳造シミュレーション (城田鋳工株式会社提供)



鋳型の設計図 (注ぎ口 含む)



鋳込後の冷却シミュレーション

素人的発想ですが…桑名の地で「先進的な半導体製造技術」と「江戸時代から脈々と続いている鋳物」が結び付けば、世界の桑名に躍進できるのではないかな…！と、今回の鋳造会社を見学させて頂き、思いました。

《桑名市長・答弁の主旨》 ↓

研司議員もご存じの通り、桑名鋳物は江戸時代から続く桑名を代表する産業であり、江戸時代から現代まで伝統的な製法を残しつつ、現代の技術によって磨き上げられた代表的な「本物力」の一つであると思っています。

昨今は日用品として目にする機会は少なくなってきたものの、鋳物事業者の方々とお話をさせて頂いていますと、上下水道設備をはじめ、産業機械器具や電気機械の製造に携わる事業者が多く、その企業間競争の中で、更なる技術を磨いているため、製造技術は常に高い水準を保っていると聞いています。

しかしながら、鋳物産業においても他の製造業と同様に、現在の燃料費や材料費の高騰、海外製の安価な鋳物製品による価格競争、また、伝統技術の継承といった、いくつかの課題が山積しています。

そのような状況の中、鋳物産業を一人でも多くの方に知っていただくとうと、市内の鋳物事業者において、様々な取り組みを進めています。

本年の1月の鋳物技術競技会の展示会場では、製造体験が開催されて、136人の方々の参加があり、非常に盛り上がったと聞いています。

また、今月、市内の鋳物企業である大洋産業株式会社内で鋳造体験工房Caster Homeが完成予定であり、私も竣工式に参加し、その後、体験をさせて頂く予定です。

研司議員ご案内の城田鋳工株式会社も、国産支援ロボット「hinotori」やJR東海特急「南紀」の新型ハイブリット車両の一部に高い技術をもって携わっておられます。

また、20年後・30年後を見越して、鋳造方法案検討の効率化ができる鋳造シミュレーションの導入、企業ブランディングの推進のためのブランディング担当の配置など新しいことにチャレンジしています。……〔略〕……。

今後も事業者の方々現状分析、情報共有を図りながら、「鋳物のまち桑名」をもう一度盛り上げるために、支援していきたいと思っています。……〔略〕……。

そして、鋳物産業だけでなく、前を向いて将来を見据えながら取り組む市内の事業者の方々と共に、新しい事に挑戦していきたいと考えています。

その一助となるよう…本議会に上程しています補助金を活用して頂く事により、鋳物事業者のみならず市内事業者もしっかりと支援して参ります。

《伊藤研司議員・再発言》

「地元の鋳物産業の事を知って頂くには、高校生からでは遅い…。小中学生の方々に、現在の鋳物産業の進捗ぶりを学んで欲しい…と思っている…」との内容の話を伺っているが…？！ 当局はどの様に思っているのか…？

《教育長・答弁の主旨》



小中学生の方々が企業の作業現場に行つての見学は、危険が伴う可能性がある
ので…会社の方が、出向いての説明なら可能です。

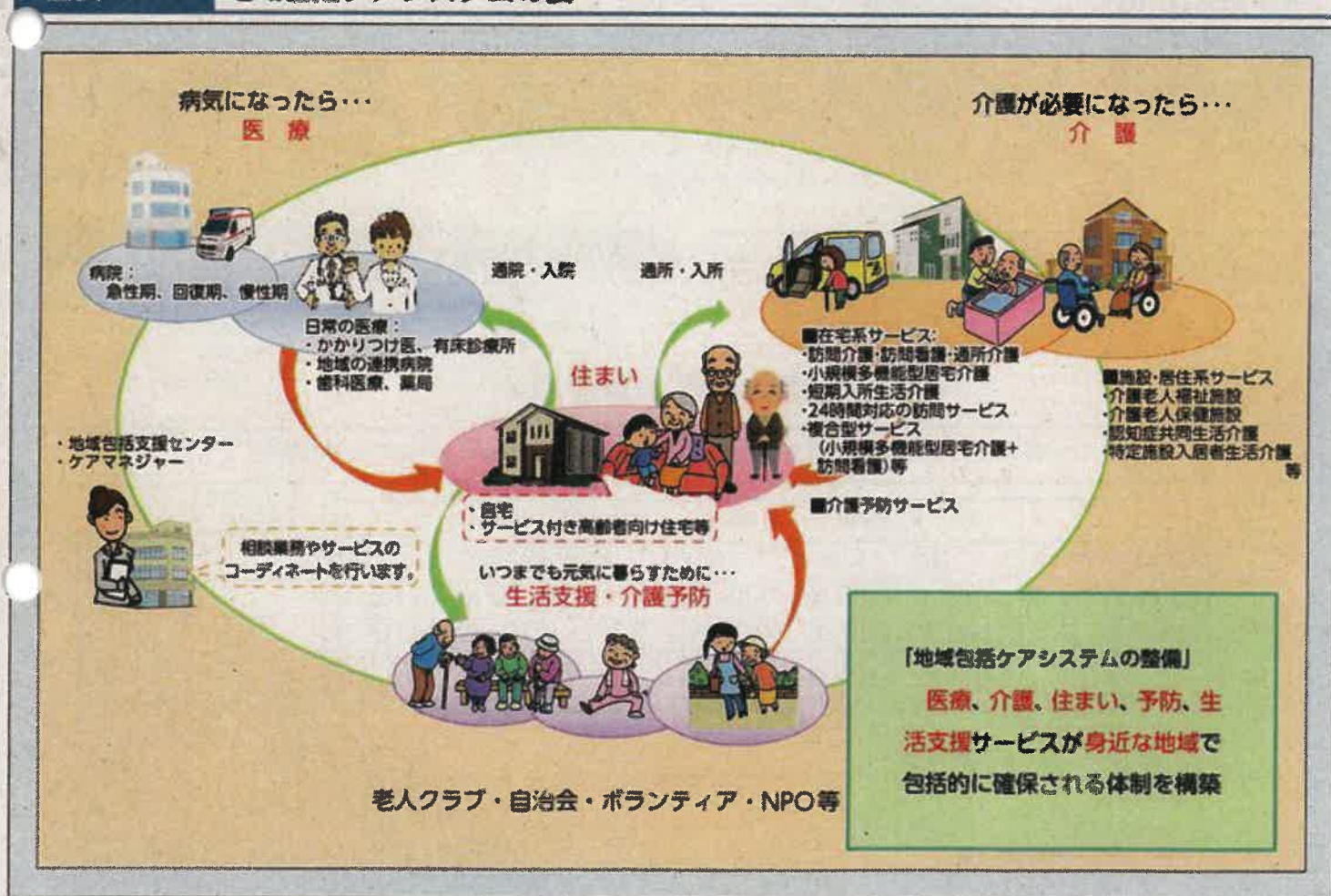
小中一貫教育⇒学校の跡地活用が重要！

私は、小中一貫教育の必要性を語る時には、教師の方々の負担軽減を図り、授業実践に専念できる体制が出来る事が脳裏にあり発言しています。
跡地活用問題を語るには、初めに、位置的要素…次に内容的要素を発言してから具体的な質問に入ります。

終末期医療・看護・介護施設の拠点施設への活用は！

《伊藤研司議員・発言の主旨》

図表4-3-2 地域包括ケアシステムの姿



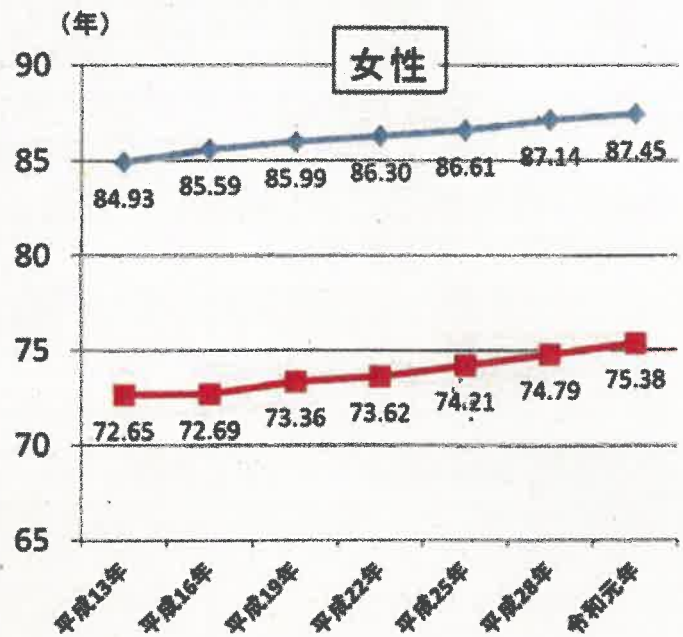
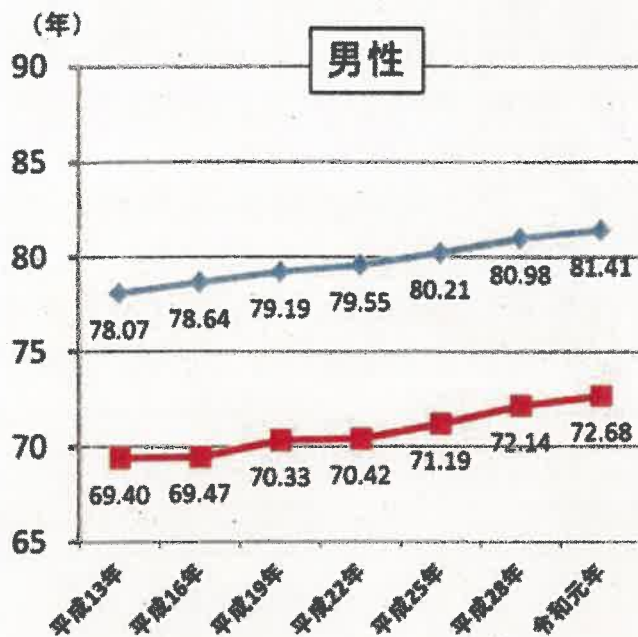
位置的要素 ↓

跡地活用の一例 ↑

- その学校跡地は「市街化区域」か「市街化調整区域」のどちらに位置しているのか？
- 学童保育所を小中一貫校地内で運営するのか…？ 各学校跡地内で運営するのか…？
- 運動クラブ（サッカー・野球…等々） スポーツ少年団の活動場所を考える必要！
- 明正中学校…日進小学校…等々のように、幹線道路に面している学校は…？
- 益世小学校・大成小学校・桑部小学校…等々のように、住宅地に囲まれている学校は…？
- 深谷小学校…久米小学校…のように、地域の端に位置している学校は…？

平均寿命と健康寿命の推移

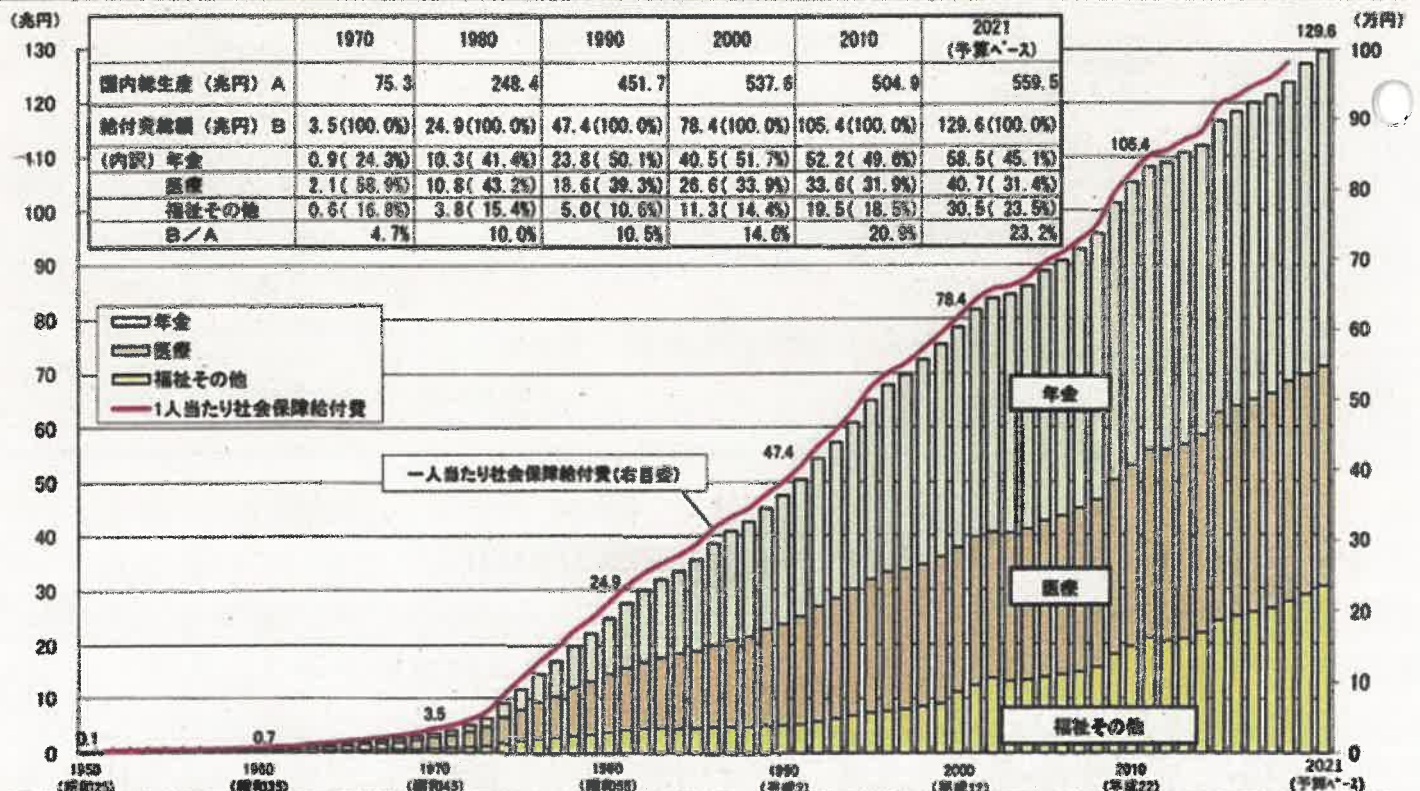
平均寿命 健康寿命



【資料】平均寿命：平成13・16・19・25・28・令和元年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」

社会保障給付費の推移

○ 高齢化に伴い、社会保障給付費は年金、医療、福祉その他それぞれの分野において、年々増加。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「令和元年度社会保障費用統計」、2020～2021年度(予算ベース)は厚生労働省推計、2021年度の国内総生産は「令和3年度の経済見通しと経済財政運営の基本方針(令和3年1月18日閣議決定)」

(注) 図中の数値は、1950, 1960, 1970, 1980, 1990, 2000及び2010並びに2021年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

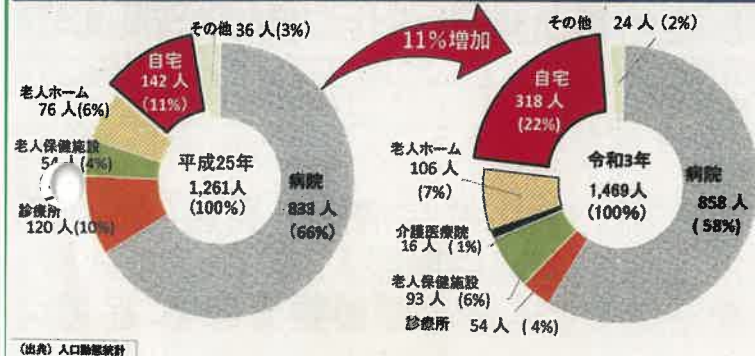
内容的要素 ↓

- ・学童保育所と高齢者施設…障害児・者…等々が共に集うことの出来る場＋終末期医療・看護・介護…の拠点施設⇒「ごちゃまぜ福祉」を核とした場。
- ・地域の食材…地域のニーズにあった食材販売を含む「道の駅」的な場を核とした場。
- 「NPOを含む地域の市民＋行政＋デベロッパー」の3者での議論が必要と思っています。

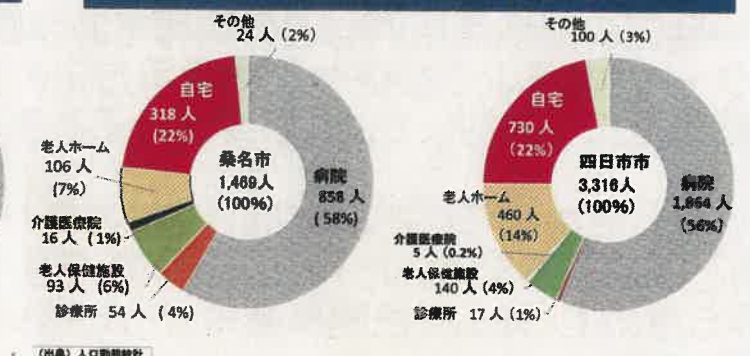
具体的要望・内容について ↓

国民の2人に1人がガンで天国に旅立ち、65歳以上の約5人に1人が認知症患者になる時代、終末期医療(在宅医療:往診医療:看取りを含む)の拠点施設への活用は！

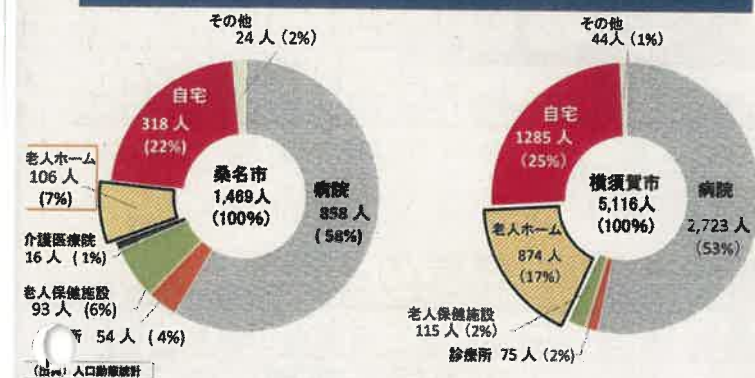
死亡場所別死亡者数 桑名市(平成25年⇒令和3年)



死亡場所別死亡者数 (令和3年)



死亡場所別死亡者数 (令和3年)



桑名市では、自宅で「終末期医療:天国に旅立つ」方々が徐々に増えている事が分かってきます。
『死亡診断書』の「死亡したところの種別」⇒病院。診療所。介護医療院。介護老人保健施設。助産所。老人ホーム。自宅。その他となっています。
「サービス付き高齢者住宅」で亡くなった場合は、自宅…？

私のおじいさんは自宅で亡くなりました。母や父は施設・病院で亡くなりました。

連れ合い(妻)は、入退院を繰り返した後、在宅医療・看護でしたので、天国に旅立つ一日前に、死に水の儀式を連れ合いの意思で行い、私や孫たちが最後のお別れの儀式をしました。

私は、特に…子ども時代に死を現実に自分自身の目の前で体験する事は、命の大切さを実際に肌で感じる人間に成長すると確信しています。

健康寿命を延ばすこと⇒寿命と健康寿命の差を縮める事が重要⇒本人にとっても幸せな人生・老後となる⇒「医療費＋介護費」の削減につながる。

※2023年4月22日 報道特集⇒「自宅で最期を迎えたい」と思っている人は58%

ポリテクカレッジ(マイスターを目指す外国人を含む匠の学校・職業訓練校)の活用は！
《伊藤研司議員・発言の主旨》

桑名市では、単に少子化対策に対する労働者不足を補うための技能実習生制度を導入するのではなく、多文化共生を含むSDGsの観点からも、全国の自治体に先

駆け、学校跡地活用の一つに、外国人を含む高度な技能実習を可能にするポリテクカレッジの活用方法を！ 勿論、鋳物産業の未来も考えての事です。

《教育長・答弁の主旨》



研司議員からは、小中一貫校（学校再編）の成否を分けるのは、再編によって生じる学校跡地の活用であり、このことを踏まえて地域の実情に合わせた様々な跡地活用例を交えたご質問を頂いています。

学校の再編を進めるにあたって生じる廃校となる学校は、現在、児童生徒の教育活動の場以外にも地域にとって様々な役割を果たしていることから市民共有の貴重な地域資産であると考えています。

この資産を活用し、魅力的な「まちづくり」を行っていくにあたっては、それぞれの学校の規模、施設老朽化の状況、周辺の道路状況、土地の用途、法令上の制限や全国の跡地活用例などの情報をお示した上で、地域活性化に向けた新しいスタートとなるような様々な利活用方法の可能性について、地域の方々と丁寧に対話を重ねて検討していく必要があると考えています。

なお、その過程においては、研司議員から、これからの社会情勢を見越した活用例としてご提案頂いた「終末期医療・看護・介護施設の拠点施設」「ポリテクカレッジ」等も含めて、幅広く民間事業者からも提案を求めていくことが必要である、と考えています。

保育の充実を！

「怒る」と「叱る」との違いを理解するために『おしれのぼうけん』を題材とした研修を！



《伊藤研司議員・発言の主旨》

不適切保育とは↓（厚生労働省の資料より）

- * 子ども一人一人の人格を尊重しない関わり
- * 物事を強要するような関わり・脅迫的な言葉がけ
- * 罰を与える・乱暴な関わり
- * 子ども一人一人の育ちや家庭環境への配慮に欠ける関わり
- * 差別的な関わり…等

実は…桑名市では、過去に児童虐待死亡事件が頻発していた時期がありました。

2002年（H14）、2004年（H16）、2006年（H18）2012年（H24）と10年間で乳幼児4人が死亡＋巻き添えで祖父一人が死亡した事件がありました。

しかし、子育てキッズ事業が軌道に乗ってから、さらに2012年（H24）に、伊藤なるたか市長

小さいとき、『おしれのぼうけん』がめっちゃ好きでした。

主人公が園庭の中でいろいろ想像するんですよ。本の影響で自分もおしれに入り、いろいろ怖いものを想像しました。暗闇がスクリーンになって、イメージが浮かびやすいんです。子どものころに読んだものは、日常と想像の境目がないみたいな世界がほとんどでした。

著者・小沢 又高 直樹



が就任してからは、現在まで虐待死亡事件は一件も起こっていないのです。

担当者や現・市長が苦勞して制定された、「子どもを虐待から守る都市宣言」(H25年7月制定)も思い出しました。……………。

絵本「おいしいのぼうけん」(初版1974年2022年には249版。芥川龍之介賞受賞の作家・タレントの又吉直樹氏もコメントを出している)は、私が本のセールスをしていた数十年前には、保育を担当する人々や子どもがいる家庭では真っ先に、読み聞かせをする本であったようですが(私の家庭でも読み聞かせをしました)…最近では、「虐待」を連想させる…?!というような事も聞いたことがあります。

もう一度、子育て・保育の原点に立って頂きたいこの本をテーマにしました。

叱る⇒相手・子どもを肯定的に注意する。(子どもと同じ目線の高さで要点だけを伝える。)

怒る⇒感情的に自分自身のイライラや怒りを相手にぶつける。

《子ども未来部長・答弁の主旨》 ↓

桑名市では、平成25年に「子どもを虐待から守る都市宣言」を宣言し、未来を担う子ども達に対し「3つの思い⇒まもる・つなげる・まなぶ」をっかけ、「子ども達が安心して健やかに成長できるまちづくり」を推進しており、この宣言以降、市では虐待による死亡事例は発生していません。

そうした中、研司議員からは、子どもの想像力、友情、信頼の中で手をつなぐことをテーマとした『おいしいのぼうけん』を題材にした研修のご提案を頂きました。

この本は危険なことをした子ども達が、押し入れに入れられた中で起きる冒険を、子ども達が励まし合って乗り越えるお話…と認識しています。

この本に登場する子ども達は、叱られることもあったけど、保育士が大好きで、その根底には、保育士との信頼関係がございます。

保育の現場でも、子ども達に注意することもあります。この注意する行為には「叱る」と「怒る」という行為があり、子どもの立場に立って、同じ目線で伝え、注意する事、また、子どもの人権を尊重して話す事は「叱る」ことであり、自分自身の感情のままに怒(いかり)をぶっつけ、子どもの人権を尊重しない「怒る」とは大きく異なるものです。

「おいしいのぼうけん」のように、絵本や児童書には、子どもと一緒に学び、保育士が自分を見つめ直し、深く考えていけるようなものがたくさんあります。

子どもに読み聞かせするだけでなく、保育士自身が行う研修の中でも、こうした絵本を紹介し合うなどの、取り組みを進めていく事は非常に大切であります。

今回の認定子ども園での不適切保育のような事案を2度と起こさないためにも、「叱る」と「怒る」の違いをしっかりと理解しながら、今後も子ども達を安心してお預かりできる環境づくりに取り組みを進めて参りたいと考えています。

高塚町の造成から 通学路の安全性と遊水地問題について



《伊藤研司議員・発言の主旨》
工事車両…等を考慮した通学路の安全確保を…！…………。

《都市整備部長・答弁の主旨》 ↓

通学路については、事業者により工事車両が通行する範囲の小学校や中学校に対して、工事の事前説明を行い、市としましても現場確認等に努め、十分な配慮を図

るよう事業者への指導を行っています。

また、市としましても、令和元年度より、開発完了後の児童や生徒の増加を見込み、高塚町内の通学路において、道路の路側帯をカラー舗装化して歩行空間を確保し、通行車両に注意を促すことで、安全確保に取り組んでいます。

《伊藤研司議員・再発言の主旨》

通行車両への注意喚起だけで良いのか…？！
ガードレール等の物理的設置も必要では…？！

《都市整備部長・再答弁の主旨》 ↓

地域や学校などの関係者の要望によって、ゾーン30プラスの可能性について、関係機関と話し合うなど、検討してまいります。

《伊藤研司議員・発言の主旨》

住宅地への雨水流入を考慮した遊水地整備を…！

《都市整備部長・答弁の主旨》 ↓

高塚町の開発行為は、1ヘクタール以上かつ洪水調整容量が500立方メートル以上となる規模であることから、調整池の設置が義務付けられ、技術基準を満たした構造となっており、開発区域外の既存流入に影響がないよう雨水流入の容量が確保されています。……。



赤須賀：出漁の様子

桑名市には、汽水域
〔淡水と海水が混じり合う〕で漁をする
漁師町としては日本で最大級の漁師町があります。はまぐり・ヤマトしじみ・アサリ…等。

※議員は、桑名市民の方々の幸福の為に、当局・議員間で議論し合って活動していくべきです。
全く火の気の無い所に煙を立たせ、無実無根の人を「奈落の底におとしめる行為」は、議員としてあるまじき行為！と、考えています。

※「伊藤研司の発言・活動報告」の郵送費は、政務活動費を活用させて頂いています。印刷費…等は自費です。

支 払 伝 票

令和 5 年 12 月 8 日

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	4
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 12 月 8 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 12 月 8 日		
支 払 金 額	135,408 円		
支 払 先	日本郵便株式会社		
使 途 内 容	広報紙郵送代 135,408 円		
備 考 0			

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☒ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 書

第 425470-03 号

おなまえ	桑名市議会 無会派 議員 伊藤 研司		様	<領収内訳>	<備考>
受領金額	百円	千円	円	現金 135,408 円	
10%	(内消費税等)		円	小切手 円	
8%	(内消費税等)		円	切手 円	
非課税			円	証紙 円	
※ 金額欄を訂正しているものは無効です				キャッシュレス決済 円	
				[決済ブランド名:]	

お取引の内容	
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 [別納 計器予納金 受取人払] [着払 その他()]
貯金	
保険	保険料の払込み
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他()

区内各分署	(@ 84 円) × 1612 (枚・個・通・件)	(@ 円) × (枚・個・通・件)
	(@ 円) × (枚・個・通・件)	(@ 円) × (枚・個・通・件)
	(@ 円) × (枚・個・通・件)	(@ 円) × (枚・個・通・件)

保険証券(書)の記号番号	払込期間及び払込月数
	年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで

(申込書番号)	8% (食品) *	10% (食品以外)
---------	-----------	------------

上記の金額を、確かに領収いたしました。

*印は軽減税率対象商品です

取扱郵便局 桑名播磨 郵便局

電話番号 0594-22-4237

取扱者氏名

2023 年 12 月 8 日

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

登録番号: T1010001112577

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 425470-03 号

領 収 書 等 添付合計金額	135,408 円 (内、政務活動費充当額 135,408 円)
-------------------	----------------------------------



上:揖斐・長良川の中堤防道路
下:赤須賀・正月の大漁旗

桑名市議会議員 伊藤研司の発言・活動報告

地球の沸騰化:戦争…日本・桑名市

子・孫につなぎ続けるための政策について…!

《伊藤研司議員・発言の主旨》

中東地域やアメリカ・カナダの学校に通っていた方から「桑名市は、田舎でもなく都会でもなく…先進的な施策を行っている都市で、住みやすいまち…」と、以上の様な内容を聞いた事から、以下のようなテーマにしました。

環境や軍事問題で、世界的・地球的規模で、多くの問題を抱えている現代社会ですが、桑名市議会議員として、桑名市民の幸せの諸課題について述べて行きます。



2023.09.03

揖斐・長良川に挟まれた中堤防道路。

ヨーロッパに何度も出かけられた事がある画家・小林研三先生が生前私に言っておられた言葉⇒「ヨーロッパでも、揖斐・長良川のような大河に挟まれた道路は知らない…。桑名の地に素晴らしい場所がある…」と。SDGsの観点からも、自転車専用道路の必要性を訴えています。現状では困難?!と思えますが…?!

先ず初めに、私たちが生活している地球が抱えている諸課題は

二酸化炭素増大→数十年後、シベリアの凍土が溶ける→地球人がこれまでに見た事がないウイルス・細菌が、凍土が溶けた所から地球全体に広がる心配が出て来る…?! シベリアの永久凍土の解凍は、モリウイルスという増殖能力の高いウイルスや、「未知のウイルス」が放出され、さらに…CO₂の何十倍もの温室効果をもたらす「メタンガス」が放出されしまう恐れもあるのです。

これらの事は、「遠い将来」の事ではなく、今…瀬戸際状況にあるのです。

↑〔NHK 地球の未来取材班の一部から〕

さらに、南極大陸は氷の層が岩盤を押さえつけていて…マントルの活動…火山群の活動を押さえつけているのですが、氷の層が薄くなれば、火山群の活動が心配されるのです。

地球の沸騰化が原因の一つで、大火災が起こったと思われる例

- 1959年にハワイが州となって以降、マウイ島で最悪の火災による被害。
- カナダでは、今年に山林火災が猛威を振るっている。日本の国土の約37パーセント近くの山林火災が起こっている。
- ギリシャのロードス島の火災について、ギリシャの国営放送によると、島全体の10%近くが消失したとしているが、正確な被害は分かっていないようだ。



戦争に関する事では↓ 民主主義国家×専制主義国家の対立・戦争↓ まさか…と思われる出来事が…？！

常任理事国のロシアが、一方的にウクライナに侵略し、ウクライナの国民を殺害し、さらに、核で世界を脅している現実。

ウクライナ戦争の成り行きでは、2027年には中国軍が台湾に侵略し、同時に横田基地をミサイル攻撃する事も心配される…？

北朝鮮が若狭湾の原発群にミサイル攻撃(核の汚染で日本人を殺害せずに、関西～東海地方に住めなくなる心配)する事も心配されるのです。



戦場に出発する直前に祈りを捧げる兵士

私自身が、地球の沸騰化を肌で感じる事例↓

私自身が、子ども時代の「石取り祭り」時期では、30度を超える日は、数日だったのでは…？との記憶ですが、今では35・36度の日が続く…熱帯夜の連日。

私と同じ年代の方々が暑さで体調を崩したり…石取り祭りを含め、地域活動に熱心だった方も体調を崩し、祭りの数日後、急変し亡くなられてしまった方もおられました。

施策の課題で、桑名市に目を向ければ…↓

例えば…「桑名市の伝統産業＋先端産業の半導体」のコラボ…。担い手不足になった土地の活用⇒多度地区の工業団地やスマートインター問題。

BRT(バス・ラビット・トランジット)への移行を含んだ、北勢線の将来問題。

さらに、多度地区の次には、旧桑名市内の施設一体型の小中一貫校問題やAIの先進事例を行ったり…等々大きな課題が山積している桑名市です。

なるたか市長の功績は…？！↓

2002年(H14)7月～2012年(H24)8月までの10年間で4件5人(一人は巻き添えで祖父が死亡)で4人の乳幼児・児童の命が奪われたのです。

しかし、なるたか氏が市長に就任した2012年12月から2023年9月までの11年間、乳幼児・児童への虐待死亡事件は一件も起こっていないのです。
勿論…なるたか市長の運の良さもありますが…市長が市議会議員時代から力を入れて来た『子どもの笑顔を守るまち桑名』(子どもを虐待から守る都市宣言)が2013年(H25)7月に議決された事も要因の一つではないのか…?!と、思っています。



日本…世界中の家庭が、このような家庭が来る事を願って活動しています。

私・伊藤研司が思うに…↓

教育費・福祉費…道路整備費…環境政策費…減災・防災費…等々 桑名市民の幸福のために基礎的な政策を充実させようと思うと、自らも稼ぐ必要が出てきます。

桑名市でも新たな時代に向けた半導体企業の誘致・鋳物産業の発展…等々を願って市長は活発な活動をしている事を認識しています。

そこから見えてくる事は→国からの補助金を使わなくて済む『補助金の不交付団体』にしたい…との気持ちが読めてきます。

Q:市長は、これからの難局を乗り越え、桑名市民を幸せにして、次世代まで続く政策・桑名市にしていこうと考えているのか…? 答弁して下さい。

《桑名市長・答弁の主旨》



研司議員からは、まさに地球規模で発生している諸課題に対し、桑名市はどのようにして、そして、どのような「まち」を目指しているのか…?との趣旨での質問を頂戴したと受け止めております。

市民の皆様からの付託を受け、10年という時を超えて、「まちづくり」を指揮してきた私なりの思いを申し述べます。

新型コロナウイルス感染症がもたらした世界的混乱が記憶に新しい中、今もなお、社会は刻一刻と変化し続けています。

森林破壊や海洋汚染、気候変動などの環境問題をはじめ、ロシアによるウクライナ侵攻を発端する政情不安など、様々な形で私たちの生活にそして未来に暗い影を落としています。

さらには、日本中の誰も経験したことのない人口減少社会という局面への突入であります。

人々の生活に目を向けても、スマートフォン一つあれば、生活に必要なほぼ全ての事が完結し、時間や場所を問わずSNSを通じて世界と簡単につながる事が当たり前になりました。

さらに、今では、AIが人にとって代わり、仕事をしたり、コミュニケーションを取る事が出来るようになる等、人々の暮らしから、人と人の繋がりまでもが、多様に変化しています。

市民の皆様が一番近くで「まちづくり」を行っている我々基礎自治体は、国内のみならず、海外にも目を向けて、さらには地球規模での共通目標であるSDGsの達成も視野に、行政運営を進めて行かねばなりません。

このような社会の変化への対応をして、私と致しましては、総合計画を持続可能な「まちづくり」の指針として掲げ、まずは何よりも市民の皆様の命を守る事を最優先に、安心して子育て出来る環境づくりから、市内経済・産業を支える基礎整備まで、市民の皆様、事業者の皆様を誰一人取り残すことなく、誠心誠意「まちづくり」を進めてきました。

そして、守るべきものをしっかりと守りながら、時代変化に対応するべく、行財政改革の中で、財政健全化の取り組みと並行して、技術革新の成果を積極的に活用し、効率的で効果的な市役所を目指す「スマート自治体」への取り組みを推進してきたところです。

職員に対しましても、ダーウィンの進化論にあるように、変化に対する確に、そして迅速に対応できるよう進化していく事が必要であると…事あるごとに伝え、改革を促すことで、桑名市らしい「まちづくり」を進めてきました。

このような中、議員からご紹介頂いた、数々の国で生活し日本にルーツを持つ未来ある若者から、「桑名市は先進的で住みやすい」と評価頂いた事に、私は、率直に嬉しく感じたところです。

とはいえ、この先も、これまでと同じ手法や考え方が通用するとは…私は思っていません。

日本の人口が減少し続ける中、入国制限の緩和により、日本で暮らす外国人の方々は増加を続けています。

企業誘致におきましても、国際的に競争力のある半導体メーカーの誘致となれば、台湾に目を向ける必要があります。

そして、オンラインゲーム上で既に世界とつながっている子ども達など、基礎自治体を取り巻く環境は、より速く劇的に変化しています。

10年…20年先を見据えた「まちづくり」には、国内だけではなく世界にも目を向け、また、新たな視点を欠かすことはできません。

～次代を生きる子どもたちのために～



その様な視点から、桑名市で暮らす外国人住民の皆様には、単に労働力の確保をして位置づけるのではなく、ともに社会を形成する一員として、安全・安心に暮らしていただけるよう、外国人と共存する取り組みを一層推進していく必要があります。

また、企業誘致におきましても、国内のみならず、人口増加・経済成長が著しい海外に目を向け、より広いグローバルな視点で企業誘致活動を進めて参りたいと考えています。

さらに、「桑名市人口減少対策パッケージ14万リバウンドプラン」において、民間事業者と連携したマッチングアプリの活用による出会いの機会創出に取り組んだように、若者の気持ちに寄り添い、従来の手法にとらわれる事なく、新たな試みにも挑戦してまいります。

また、小中一貫校「多度学園」の整備におきましては、現在、先端技術であるAIを活用した校歌の作成を取り入れるなど事業の進捗を図っています。

引き続き、公民連携の視点で、大学やスタートアップなど様々な課題の解決を図ってまいります。

先が見えない事を恐れるのではなく、私の「まちづくり」の理念である全員参加のもと、市民の皆様、事業者の皆様、議員各位、職員が一丸となって、しっかりとチャレンジすることが重要であります。

そうすることで、地球規模の難局を乗り越えることができ、日本のみならず、世界においても、桑名という名前が知れ渡るような次世代にも誇れる「まちづくり」をこめてまいります。

結婚しても子どもを産まない理由は…?!

お金だけの問題だけではなく、子育ての大変さから…!

《伊藤研司議員・発言の主旨》

最近、結婚しても子どもを産まない夫婦がいる…との事をマスコミを通して聞くことがあります。

その理由の一つには、収入・お金の問題もあります。正社員の平均年収は約400万円ですが、年収を中央値で見ると約350万円です。



国税庁の「民間給与実態統計調査」によると、非正規社員の年収は男性が約226万円、女性が約152万円です。

以上のように、勿論…お金の問題もありますが、最近…よく聞くとところでは、子どもを育てるには「精神的・肉体的…さらに、自分自身の時間を持てない大変さ…等々」から、子どもを産みたくない…と言った理由もマスコミ報道で知った事もありました。

私たち夫婦も妻は看護師で共働きでしたので、夜中は私がミルクをあげたり、おむつ洗い(当時は布おむつ)をしたり、子どもが中学生時代には、お弁当作りも経験しましたので…確かに、子育ては夫婦が協力しなくては…!と思っています。

時代も変わって来ました…。女性の立場になって考えれば、働いていても…いなくても…子どもを保育園に預ける事が出来たなら…と、思う事があって当然と、思います。

Q:桑名市では、母親(父親の場合もある)が働いていない場合を含め、子育てに疲れた時に、一時的な場合を含め…子どもを保育園(所)で預かる制度があるのか…?!

《子ども未来部長・答弁の主旨》 ↓

現在、桑名市の一時預かり事業に関しましては、公立保育所5カ所、子育て支援センター1カ所、私立保育園2カ所、認可外保育施設1カ所の計9カ所で一時預かり事業を実施しています。……。月に14日の範囲内で利用できますので、定期的にご利用される方もございます。

また、本年8月からは、一時預かり事業を活用した全国初の取り組みとなる「選べる桑名子育てリフレッシュ事業」もスタートしており、出産後に子どもを預けてリフレッシュして頂ける取り組みも開始しています。

さらに、相互援助機関であるファミリーサポートセンターでも依頼会員と提供会員の間で子どもを預かってもらう事が可能な支援事業を行っています。

こうした事業を進める中では、保護者の疾病等、その家庭によっては、宿泊を伴う預かりが必要な場合もありますので、現在、児童養護施設などで一定期間、お子さんをお預かりする短期入所生活援助事業も実施しています。

この短期入所生活援助事業では、令和3年度からは、里親家庭でもお預かりできるよう事業を拡大しており、家庭的な環境でお預かりする事が出来るなど、お子さんの負担をより軽減できるよう取り組んでいます。

※私自身の思い⇒結婚される前の方々…独身の方々…子どもを産みたいと思っておられる方々に、桑名市の子育てに関する支援制度を紙媒体だけではなく「SNS」…等を通してお知らせしたら…!と思っています。

教育現場での生成AIの活用方法

教師の負担軽減 + 次世代を担う子ども達のために

《伊藤研司議員・発言の主旨》

2023年6月23日の中日新聞に以下の内容が報道されています。↓

『生成AI試験使用ダメ。討論に参考利用は有効』との見出し記事で、文科省学校指針原案:「学校で生成人口知能(AI)を利用する際のチェックリスト案」として↓

1. 年齢制限や保護者同意など利用規約を守っているか!
2. 性質や限界、メリット、デメリットを事前に学んでいるか!
3. 個人情報や機密を入力しないように指導しているか!
4. 著作権侵害につながらないように指導しているか!
5. AIで作った読書感想文などを自分が作成したとして、提出するのは不正行為だと指導しているか!

以上の原案に対し

尾身直樹・法政大学名誉教授のコメントが掲載されています。↓

『指針の原案は対話型人口知能:AIを一律に禁止するのではなく「使いこなす力」を重視しており適切だ。』



- 1, 夏休みを前に、AIでの成果を自分の読書感想文として、提出する事は、不正行為だとツギを刺すなど事例も分かりやすい。
- 2, 最も心配なのは、なり手不足が続く中での教師への負担増だ。
- 3, AIに詳しい民間事業者に教育現場に加わってもらうなど、国の支援は欠かせない。

Q:今後…教育現場で人口知能:AIをどの様に活用して行く考えか…?

《教育長・答弁の主旨》 ↓

桑名市教育委員会としては、一律に禁止するのではなく、文部科学省のガイドラインに基づき、生成AIの適切な活用を推進していきます。

具体的には次の2つの観点から、活用を検討し

- 1, 教職員の授業準備などへの負担軽減です。

教職員が生成AIを活用することで、授業準備として

行う指導案や教材、教職員が研修で使用する資料の原案作成などにおいて、業務を効率化できる可能性があります。まず、研修や校務での適切な活用に向けた取り組みを通して、教職員自身のAIリテラシーを向上し、子ども達への指導につなげていく事です。

- 2, 子ども達の学習支援としての活用です。

例えば、子ども達がグループで考えをまとめたり、アイデアを出したりする途中段階で、生成AIに同様の課題を問いかけ、その回答から自分たちに足りない視点を見つけ、さらに議論を深めるなど、より効果的で深い学びにつなげる活用です。一方で、生成AIは発展途上のルーツでもあり、子ども達の活用については、生成AI自体の性質やメリット・デメリットに関する学習や、情報モラルを含む情報活用能力の育成を行ったうえで、安易な活用とならないよう、個人情報の取り扱いにも十分に配慮しながら取り組んでいきます。

私・伊藤研司の思い↓ 時代は変わって行く↓

A、小学生の英語は、5年生から(私たち時代は中学生から)⇔教師の負担増

B、ある放送番組から⇒教師の業務は、保護者からの相談…等々で業務の約40%が授業実践以外の業務になっている現実→教師の負担増の解消が必要。

自転車専用道路の設置を…!

SDGsの観点からも 市街地+駅西地区で



上→相川町の交差点。
下→駅西地区の「車道と歩道」自転車専用道路を造れる幅がある。

《伊藤研司議員・発言の主旨》

世界には、アメリカのイーストコースト、カナダのトランス・カナダ・トレイル…などの、グリーンウェイがあり、ヨーロッパでも9万キロに及びヨーロッパ全土を結ぶツーリングロードがあります。

私はBSで(ヨーロッパ9万キロ ヨーロッパ自転車ロード)でヨーロッパでの自転車競技やツーリング番組をよく見ます。

市長ご存じと思いますが、ヨーロッパでは、SDGsの観点

からも含め、自転車道路が完備されています。

桑名市では、自転車専用道路は私が知る限りではありません。…(略)…。

Q: 自転車の運転マナーを守る事…SDGsの観点からも「市街地＋駅西地区」で自転車専用道路の設置を望みます。

《都市整備部理事・答弁の主旨》 ↓

研司議員の言われる通り、自転車専用道路の設置を始めとした自転車施策については、ドイツ・イタリア・スウェーデン…を始めとしたヨーロッパ諸国では熱心に取り組まれており「都市を持続可能にする自転車」とも言われています。

「自転車専用道路」の設置ですが、海外に比べ全国的に道路用地の制約などから、整備が進んでいない状況であり、桑名市内においても設置されていません。…(略)…

今後…桑名市と致しましては、桑名駅西土地地区画整理事業の進捗を踏まえ、桑名駅周辺を中心とした公共交通機関との相互利用が可能な路線等において、社会実験の実施等を含め、検討して参りたいと考えています。



中秋の名月・赤須賀漁港 写真・伊藤研司

日本国憲法の3つの原則

・平和主義 ・国民主権 ・基本的人権の尊重があります。

完全に事実無根の行為…全くやっていない事を、あたかもやったかの様に、議会の場で発言し、さらには政務活動費を使って市民の方々に手紙を送る行為:「無実の人を奈落の底に落とし入れる発言・行為」は、議員として…それ以前に人間として許せない行為です！

※「伊藤研司の発言・活動報告」の郵送費は、政務活動費を活用させて頂いています。
印刷費…等々は自費です。

支 払 伝 票

令和 6 年 2 月 6 日

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	5
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和 6 年 2 月 6 日		
支 払 年 月 日	令和 6 年 2 月 6 日		
支 払 金 額	134,904 円		
支 払 先	日本郵便株式会社		
使 途 内 容	広報紙郵送代 134,904 円		
備 考	0		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☒ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 書

第 425470-07 号

おなまえ	桑名市議会 無党派議員 伊藤 研司		様	<領収内訳>	<備考>
受領金額	百万	千	円	現金	134,904円
10%	134,904円		円	小切手	円
(内消費税等	12,264円		円)	切手	円
8%			円	証紙	円
(内消費税等			円)	キャッシュレス決済	円
非課税			円	(決済ブランド名:	)

※ 金額欄を訂正しているものは無効です

お取引の内容	
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 別納 計器予納金 受取人払 着払 その他()
貯金	区内特別金 (@ 84円) × 1606 (枚・個・通・件) (円) × (枚・個・通・件) (定形) (@ 円) × (枚・個・通・件) (円) × (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件) (円) × (枚・個・通・件)
保険	保険料の払込み
物販等	店頭販売商品の販売 カatalog販売 その他()
保険証券(書)の記号番号	
払込期間及び払込月数	
年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで	
(申込書番号)	
8% (食品) * 10% (食品以外)	

上記の金額を、確かに領収いたしました。

*印は軽減税率対象商品です

取扱郵便局

桑名播磨

郵便局

電話番号

0594-22-4237

取扱者氏名

2024年2月6日

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

登録番号: T1010001112577

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 425470-07 号

領 収 書 等
添付合計金額

134,904 円 (内、政務活動費充当額 134,904 円)



急激な児童・生徒数の激減に、 施設一体型小中一貫校で対応

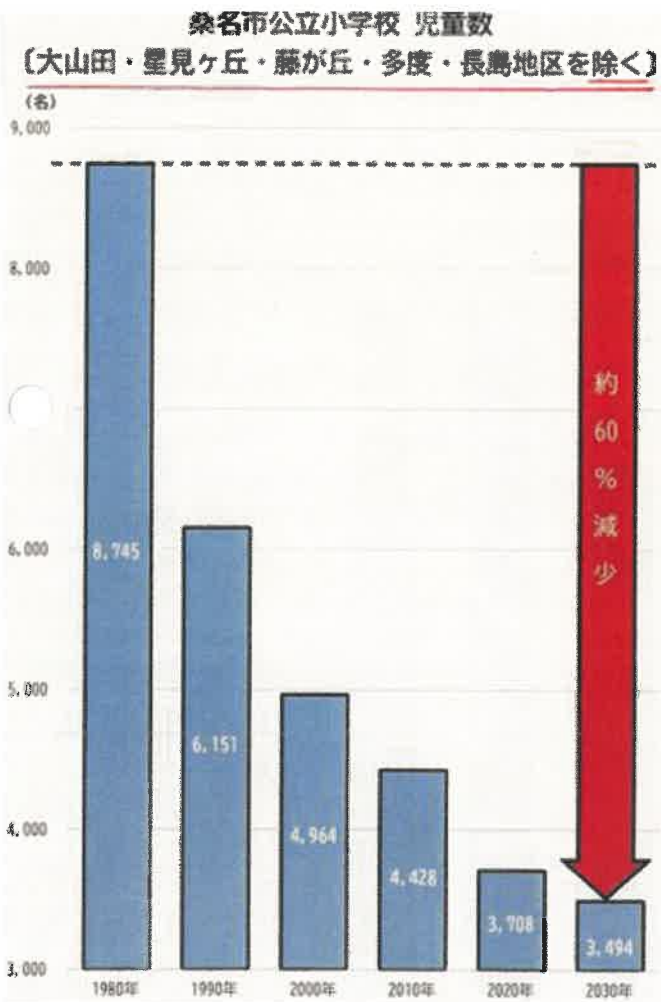
1. 児童・生徒数の減少・推移から考える

桑名市議会議員 伊藤研司の発言・活動報告

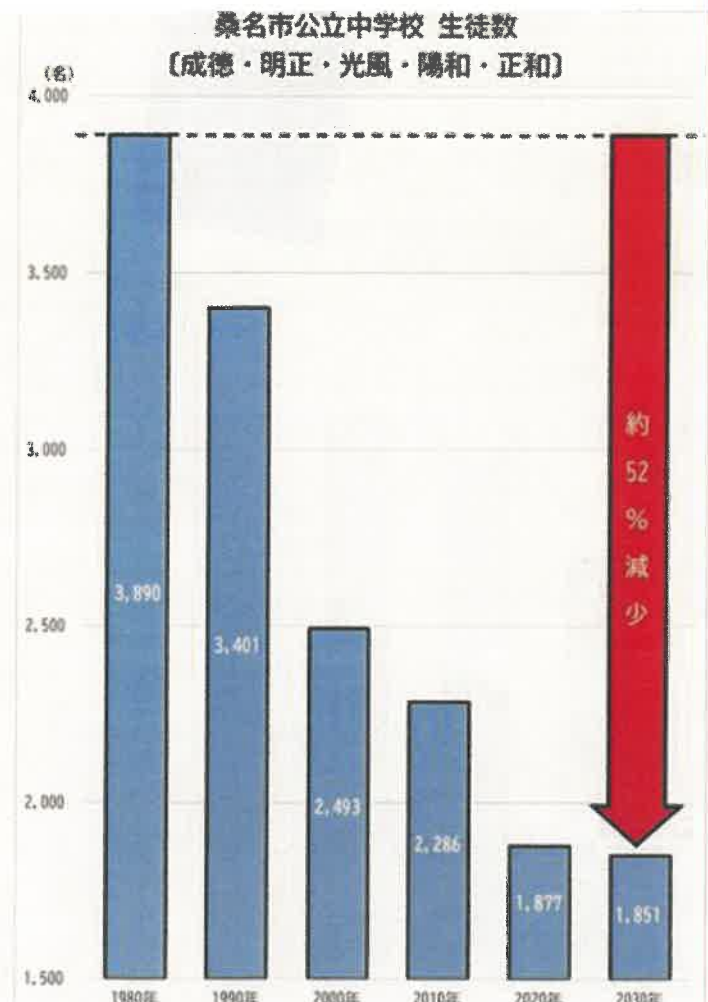
《伊藤研司議員・発言の主旨》

『団塊の世代』の私が、児童・生徒として通った時代(1960年頃は益世小学校に通学。東京オリンピック開催時には明正中学校3年生。中学3年生の時に、木造校舎から現在の鉄筋校舎に移動)。

当時の、益世小学校→約1,250名 明正中学校→約1,500前後であった…と、記憶しています。しかし、現在では益世小学校→388名 明正中学校から、1975年に正和中学校が分離したため、令和5年には正和中学校→361名。 明正中学校+正和中学校⇒877名(令和5年)



1980年に比べ、2030年には約60%児童数が減ることが予想されます。



児童数が約60%減という事は、生徒数も数年後には減る事が予想されます。

桑名市立公立小学校児童数 ↓

(大山田・星見ヶ丘・藤が丘・多度・長島地区を除く)

1980年:8,745名 1990年:6,151名 2000年:4,964名 2010年:4,428名
2020年:3,708名 2030年:3,494名

桑名市(大山田東・北・西・南・藤が丘・星見ヶ丘小)児童数 ↓

2,005:2,267名 2,010年:2,466名 2,020年:2,524名 2,030年:1,566名

桑名市立公立中学校(成徳・明正・光風・陽和・正和)生徒数 ↓

1980年:3,890名 1990年:3,401名 2000年:2,493名 2010年:2,286名
2020年:1,877名 2030年:1,851名

桑名市立公立中学校(陵成・光陵)生徒数

2005年:980名 2010年:1,137名 2020年:1,193名 2030年:1,113名

(2005年から2030年に生徒数が増えていますが、大山田地域の児童数が減っていますので、数年後に生徒数も減少する事が予想されます)

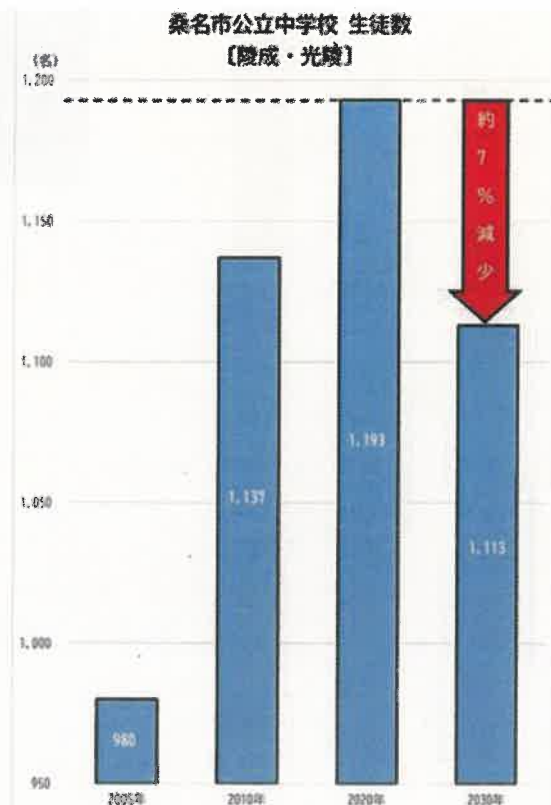
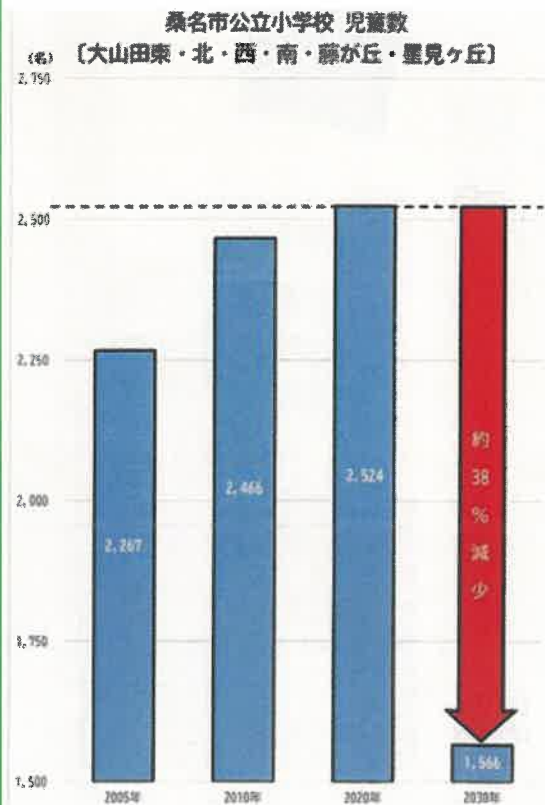
2、教師の負担軽減を考える

私は『団塊の世代』です。私が小学生の時代、親の子どもへの期待は『末は博士か？ 大臣か？』と言われたような時代でした。勿論…パソコンもありませんでした。

益世小学校で5・6年B組だった私…体育の授業は担任の先生が好きな「サッカー」

でした。白いシャツを学校で染めて、明正中学校の生徒と試合をしたことも覚えています。鉄棒の授業は、一回だけでした。

明正中学校のプールの授業は、勝手にプールに入っていれば良く、今の時代みたいに「災害時のための授業」はなかったのです。



大山田地区の児童・生徒数の推移。児童数⇒2005年から2030年には約38%の減。児童数の減少に比例して生徒数の減少も予想されます。

社会・数学の授業は、先生が黒板に書いた数字・文言を帳面に書いて行くのが授業でした。(英語の授業では、先生は英語だけをしゃべり、私などは分からなくて、後ろに立っていた事を覚えています)

そして、「教師の言動は、全て正しい」と教わって来た時代でした。
今の時代みたいに、「児童・生徒間での議論…先生との議論は考えられなかった時代です。」

先生に限らず、一人の人間が、『算数・国語…水泳…外国語…』まで指導出来る人は、少ないのでは…?!と思っています。

しかし、これからの時代…世界に向けて活動して行くには、『日本語＋英語又は中国語・フランス語・ドイツ語…等々』は話せなくてはならない時代です。

あるテレビ番組だったと思うのですが…

現在の教師の仕事の約4割近くが保護者との話し合いを始め、授業実践以外の雑務に追われている…。教師の多くは、授業実践の時間を取りたい…といった内容の番組を放送していました。

教師もスーパーマンでもなく、普通の人間です。

授業時間に集中でき、教師の負担軽減のためにも、施設一体型小中一貫校の建設を望むのです。

3. 校舎の築年数から考える。

日進小:60年 精義小:61年 立教小:55年 城東小:28年 益世小:56年
修徳小:54年 大成小:59年 桑部小:48年 在良小:52年 七和小:51年
深谷小:52年 久米小:51年 城南小:61年 大和小:52年 大山田東小:44年
大山田北小:41年 大山田西小:38年 大山田南小:32年 藤が丘小:28年
星見ヶ丘小:22年 長島北部小:45年 長島中部小:53年 伊曽島小:44年

↑ 小学校で築55年以上の建物がある学校は、6校。

成徳中:57年 明正中:59年 光風中:48年 陽和中:36年 正和中:48年
陵成中:41年 光陵中:34年 長島中:37年

↑ 中学校で築55年以上の建物がある学校は、2校。

※平成26年2月、益世小学校教室で梁の部分『約1メートル×30センチ』のコンクリートが崩落した事がありました。幸いにも、体育?音楽?の授業で、教室に誰もいなかったため、負傷した児童はいませんでした。



崩落した後、工事をしている写真を示し、本議会で発言しました。

※私自身、議員になる以前は本のセールスで主に、市役所・学校・保育所を訪問していた関係からか…学校の先生に、「ベランダがある学校は、主に伊勢湾台風後に建設された学校…？と思われる。塩抜きがキッチンとされているか心配…？避難する時を含め、ベランダに何名の児童が同時に逃げる事ができるかが心配…？



ベランダがある学校は、複数校あります。築年数から考えても、建て替えが必要…？！

教育委員会に問い合わせさせて欲しい…！」と、聞かれた時もありました。

今でも、時々…心配になる時もあります。

建て替える時期が、『待ったなし』の時期が来ている…と思っています。

4. 分散進学を無くすためにも、施設一体型小中一貫校建設は必要！



JR・近鉄線が走るガード下が、以前…通学路になっていた時もありました。通学路としては、危険でした。

私自身、自治会は城南地区…。団地開発時でも『この地区は城南小学校』と看板が団地内に立っていましたが、『距離＋通学路の安全面』から…益世小学校に通学の方が良い…？！と、思いましたので、教育委員会との話し合いで、かなりの年数がかかった覚えがあります。

桑名市内では、現在でも分散進学している校は、7校あります。

分散進学を解消するには、多くの労力とエネルギーを必要とします。分散進学解消に向ける労力とエネルギーを教育実践のためのエネルギーに向けて頂ければ、幸いと思っています。

施設一体型小中一貫校を実現すれば、分散進学も一挙に解決できるのでは…？！と思っています。

5. 施設一体型小中一貫校として適切な場

施設一体型小中一貫校を建設するのに、地理的に可能な場と言えば、以前の議会でも示したように『市役所＋光風中学校＋新矢田公園＋市道』がある地域⇒約3万

5千300㎡ある場所しかないのでは…?!と、ドローンで撮影した写真を本議会の場で示させて頂きました。

通学問題から考えても、この場が良いのでは…?!と、考えています。

施設一体型小中一貫校の建設をして、地域の方々に『良かった』と喜んで頂くには、跡地の有効活用が大切！

『NPO・企業＋行政＋地域』の協働企画・作業が大切！



- * 子ども食堂⇒現在では『大人＋子どもが集う事が出来る場』として運営が多い。
- * 私自身の体験から、『看取り⇒一昔前までは、約9割近くの家族が看取りを実践』命の大切さを学ぶ。
- * 喫茶ルームとして活用⇒いなべ市の旧・中里小学校。

↑ 本議会⇒パネルで説明

* 11月14日に東郷町に見学。
責任者の織田えいじ氏(日本ガバナメント協会)⇒『看取り＋子ども・老人を含めた大人・障害者…等々』が集まれる居場所…将来的に『自然を生かした遊びの場＋フリースクール』

* 地元の方々が栽培した野菜・くだもの…等々を販売する『道の駅』

* 旧幼稚園を活用して『学童＋高齢者の集いの場』 ↓



↑ 愛知県東郷町の『NPO法人ノーマCafe』に見学し織田えいじ氏から話を伺いました。織田氏の人間関係の多さには、ビックリすると同時に、桑名市の学校の跡地活用のヒントを得ました。写真:『まち むら』163号



← 幼稚園が廃園になった後は、高齢者の施設として活用されていましたが、当時の地域の方々の協力もあって、学童保育所の施設として活用されています。

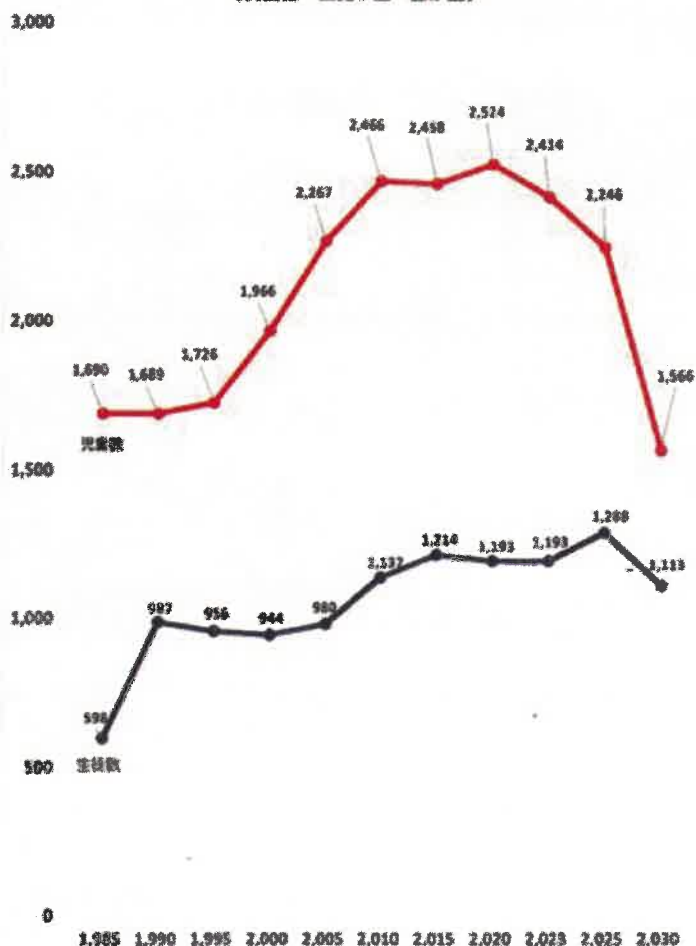
*『多文化共生』の時代⇨インターナショナルの学校⇒2023年11月、政府有識者会議は「人材確保・育成」を目的とした新制度『育成就労制度』を創設する報告書をまとめた。日本が直面している人手不足に対応するため、外国人労働者を『即戦力』の特定技能水準に育成し中・長期的な就労を促し、人権侵害防止も図る制度。

*高齢者の方々⇒買い物・医者・お友達…等に出かける事が出来る『デマンド型交通』システムの拠点。

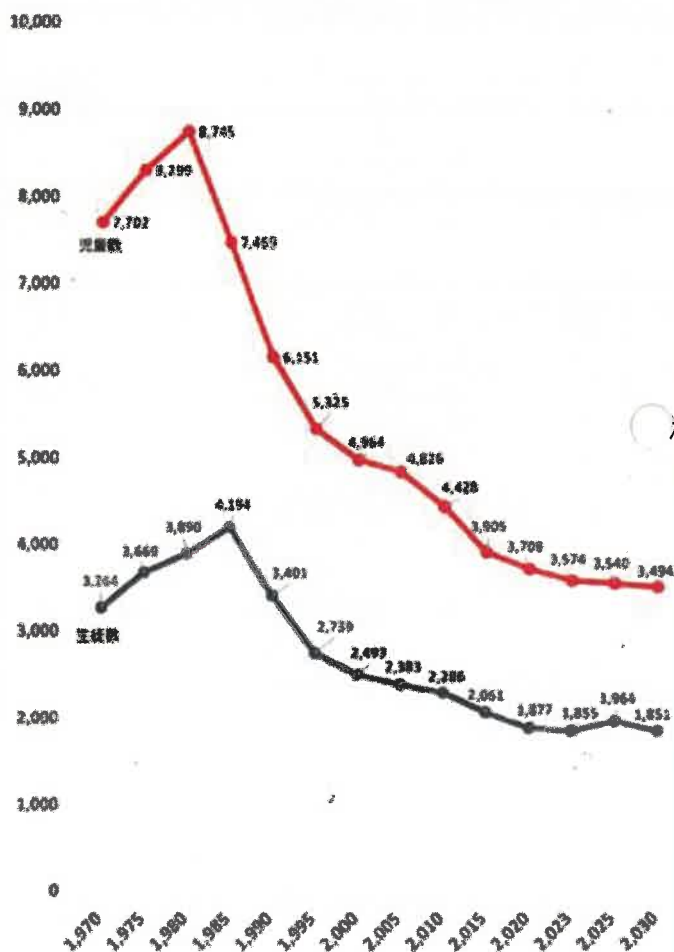
*多くの施策活用方法が考えられますが、それぞれの地域で、どのような施策を軸として、どのような活用方法を行っていったら良いかは、『行政を核とした政策集団＋地域住民』だけの議論ではなく、これからの時代は『NPO・企業＋行政＋地域』と議論する必要性があるのでは…と考えています！

桑名市公立学校児童・生徒数の推移

桑名市公立学校児童生徒数推移
(大山田・星見ヶ丘・藤が丘)



桑名市公立学校児童・生徒数
(大山田・星見ヶ丘・藤が丘・多度・長島地区除く)



↑ 1985年～2030年までの推移
大山田・星見ヶ丘・藤が丘地域の児童・生徒数の推移

↑ 1970年～2030年までの推移。
大山田・星見ヶ丘・藤が丘・多度・長島地域の児童・生徒数を除く。



桑名市長・伊藤なるたか氏
本議会での発言。

《桑名市長・答弁の主旨》 ↓

現在、桑名市では全市的な小中学校の再編方針を定める『桑名市小中学校再編計画』の令和7年度中の策定に向け、取り組みを進めています。計画策定の初年度である本年度は、学校再編計画策定に向けた推計・分析業務として、小中学校再編計画の基礎となるデータ収集を行っています。

現在進めている推計・分析業務のうち、今後40年間に渡る児童・生徒数・学級数の推計について、先般、教育委員会から報告を受けました。推計については、可能な限り、恣意性を排除し、客観性、中立性を保つため、現在、桑名市が取り組んでいる『桑名市人口減少対策パッケージ14万リバウンドプラン』などの政策効果「地理的状況から今後想定される大規模開発・マンション開発」、「外国人の入出」といった今後の都市開発状況や経済状況に左右される不確定な要因について加味してはいませんが、このまま何も手を打たなければ、市内の児童・生徒数は、令和5年(2023年)5月1日現在の10,954名(児童:7,215名 生徒:3,739名)から、40年後の令和45年(2063年)には、5,290名(児童:3,499名 生徒:1,791名)と5,664名…約5割が減少します。

また、昨年、教育委員会が実施した市民アンケート調査では、望む1学年あたりの学級数は、小学校では、国の示す標準規模でもある『一学年2～3学級』となっており、全学年でこれを満たす学校は、10年後の令和15年で多度地区、長島地区の悠(はるか)分校を除く23校中8校となり、さらに40年後には2校のみとなることが推測されています。

このままでは、子ども達が、多様な意見・考え方を持つことに揉(も)まれながら、これからの予測困難な時代を生き抜くための『生きる力』の育成に相応(ふさわ)しい、一定の集団規模を確保した教育環境を維持していく事は難しいと言わざるを得ない結果であり、この児童・生徒数の減少スピードに、私と致しましても非常に危機感を覚えているところです。

さらに、多くの校舎の老朽化も進んでおり、学校を取り巻くインフラの改修も待たなしの状況です。

しかしながら、研司議員ご指摘のとおり、市内全小中学校の再編となりますと、完了するまでには、かなりの期間を要することが予想されます。桑名市としましても、一年でも早く、子ども達に最適な教育環境を提供するためにも、今進めている小中学校再編計画の策定前であっても、学校再編の実行性が担保される場合においては、スピード感を持って始めていかなければならない、と考えています。



▽小中学校の再編 市内の小中学生数は現在の1万954人から、40年後の2063年には5290人に半減するという推計。25年度に学校再編計画を策定予定だが、策定前にも可能なところから再編に手を付けることを考える。

↑2023年12月15日 中日新聞

↑『桑名市役所+光風中学校』をドローンで撮影。施設一体型小中一貫校の候補地の一つに考えられる。

ご提案を頂いています光風中学校を起点とした候補地は、桑名市が学校再編を進めるにあたり、適切な施設形態と考える施設一体型小中一貫校を設置するためには、『学校としてある程度の広さ』を有しており、かつ、『人口が密集する市街地においても、隣接する土地が市有地であること』から、『更なる拡張が容易』であります。

また、地区としても『桑名市の中心拠点である桑名駅周辺地域で人口密集地があり、より多くの児童・生徒の教育環境の改善につながること』、『分散進学が顕著な地域であること』『学校施設の老朽化が特に進んでいる学校を含んでいること』から、早急に検討が必要と考えています。

再編にあたっては、今後、隣接地である桑名市役所庁舎の取り扱いや学校区割りの編成、地域の皆様との合意形成、跡地活用方法など、検討すべき事項は多岐に渡りますことから、関係所管に指示し、これからの時代に相応しい教育環境の整備に向けて、しっかりと取り組んで参ります。



島根県安来市に位置する587年創建の『清水寺』山陰唯一の木造の『多宝塔』



原爆ドーム。人類史上初めて使用された『核兵器』により被ばく。私が訪れた日には外国人を含む多くの人々が見学していた。



原爆平和記念資料館に展示。幼い兄弟が乗っていた三輪車も被ばく。

※本議会でも発言しましたが、昨年10月に広島県(原爆資料館・宮島)と島根県(月山富田城・松江城・清水寺)を訪れました。『まちづくり』は以前のように「金太郎飴」的な施策ではダメだと改めて気づきました。

※『発言・活動報告』⇒郵便での配送費は「政務活動費」を活用させて頂き、印刷・製本費…等は自費です。

支 払 伝 票

令和 6 年 3 月 5 日

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	6
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和 6 年 3 月 5 日		
支 払 年 月 日	令和 6 年 3 月 5 日		
支 払 金 額	10,230 円		
支 払 先	桑名市長		
使 途 内 容	タブレット端末通信料(後期分) 10,230 円		
備 考	1か月あたりの通信料3,410円(税込) 3,410円×3か月=10,230円		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号																																																																						
支出科目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 要請・陳情費																																																																					
桑名市 24-205 登録番号 T5000020242055 納入通知書兼領収書 〒 511-8601 住 所 三重県桑名市中央町2丁目37番地 無会派 伊藤 研司 様 <table><tr><td>年 度</td><td>伝票番号</td><td>予算</td><td>会計</td><td>所属</td></tr><tr><td>5</td><td>0054601 - 001</td><td>0</td><td>1</td><td>30010</td></tr><tr><td>款 項</td><td>目 節</td><td>1</td><td colspan="2">議会費収入</td></tr><tr><td>21</td><td>4 3 細節</td><td>10</td><td colspan="2">タブレット端末使用料</td></tr><tr><td>金額</td><td colspan="5">10,230 円</td></tr><tr><td>内 消費税</td><td>0 円</td><td>消費税</td><td></td><td></td></tr><tr><td>納 期 限</td><td colspan="5">令 和 6 年 3 月 31 日</td></tr><tr><td>所 管 課</td><td colspan="5">議会事務局</td></tr><tr><td>摘 要</td><td colspan="5">令和5年度タブレット端末通信料(後期分)</td></tr><tr><td>発 行 日</td><td colspan="5">令 和 6 年 3 月 1 日</td></tr><tr><td colspan="5">上記金額を納入してください。 桑 名 市 長</td></tr><tr><td colspan="3">上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関</td><td colspan="2">領 収 日 付 印 </td></tr></table> ※領収日付印のないものは無効です。 (納入者保管) 桑名市 24-205						年 度	伝票番号	予算	会計	所属	5	0054601 - 001	0	1	30010	款 項	目 節	1	議会費収入		21	4 3 細節	10	タブレット端末使用料		金額	10,230 円					内 消費税	0 円	消費税			納 期 限	令 和 6 年 3 月 31 日					所 管 課	議会事務局					摘 要	令和5年度タブレット端末通信料(後期分)					発 行 日	令 和 6 年 3 月 1 日					上記金額を納入してください。 桑 名 市 長					上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関			領 収 日 付 印 	
年 度	伝票番号	予算	会計	所属																																																																		
5	0054601 - 001	0	1	30010																																																																		
款 項	目 節	1	議会費収入																																																																			
21	4 3 細節	10	タブレット端末使用料																																																																			
金額	10,230 円																																																																					
内 消費税	0 円	消費税																																																																				
納 期 限	令 和 6 年 3 月 31 日																																																																					
所 管 課	議会事務局																																																																					
摘 要	令和5年度タブレット端末通信料(後期分)																																																																					
発 行 日	令 和 6 年 3 月 1 日																																																																					
上記金額を納入してください。 桑 名 市 長																																																																						
上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関			領 収 日 付 印 																																																																			
領 収 書 等 添付合計金額	10,230 円 (内、政務活動費充当額 10,230 円)																																																																					